

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

猫は後悔するか

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。	学習課題に沿って、筆者の主張と関連する根拠や例示を見つけ、筆者の主張をとらえようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

（7）時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (5)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

言葉と出会う

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章の表記の決まりや正しい言葉の用い方を理解している。	「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。	文章の表記の決まりや正しい言葉の用い方を理解し、表現の仕方を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・例題に取り組み、表記に関して注意するポイントを把握する。 ・練習問題に取り組み、学習した内容の定着度を確認する。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析
2 (2)	・例題に取り組み、整った文章を書くためのポイントを把握する。 ・練習問題に取り組み、学習した内容の定着度を確認する。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・例題に取り組み、相手や場面によってふさわしい言葉があることを把握し、細かいニュアンスまで考える。 ・練習問題に取り組み、学習した内容の定着度を確認する。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析
4 (2)	・例題に取り組み、分かりやすい文を書くための要点を抑える。 ・練習問題に取り組み、学習した内容の定着度を確認する。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析
5 (3)	・例題に取り組み、文を適切につなぐための接続表現を理解する。 ・練習問題に取り組み、学習した内容の定着度を確認する。 ・まとめの問題に取り組み、単元で学んだことを理解できているか確認する。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

伝える、伝え合う①

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉で伝えるために必要な「話す」「聞く」「伝え合う」ことの基礎的な力を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。	相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫するなど、言葉で伝えるための基礎的な力を身に付けようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・自己紹介を目的としたゲームに取り組み、相手に応じた話し方を身に付ける。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析
2 (2)	・イラストを見て、見ていない人に言葉で伝える活動を通して、説明する際の留意点を身に付ける。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

伝える、伝え合う②

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事実を伝えるために必要な5W1Hを意識して文章を書いている。	「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。	自分の考えを明確にし、5W1Hを意識し、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (3)	・「マイニュース」を書くための題材を見つけ、情報を5W1Hを意識してまとめる。 ・「マイニュース」を書き、推敲する。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「マイニュース」の記述の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (1)	・完成した「マイニュース」をグループ内で発表し、相互評価を実施することで反省点を明確にする。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

自己PRと面接

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の特長が効果的に伝わる文章構成を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。	自分の特長を効果的に伝えるための文章構成を考え、具体例を効果的に配置するなど、話の展開を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (3)	・自分の特長とそれを裏付ける経験を書き出す。 ・聞き手に強い印象を与えるための表現上の工夫を考える。 ・構成に注意して自己PR文を作成する。	○	○	○	【知識・技能】 自己PR文の分析 【思考・判断・表現】 自己PR文の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・完成した「自己PR」を発表し、相互評価を実施することで反省点を明確にする。 ・進路活動にも活かせるように、自己PR文を修正する。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

小論文①

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小論文とは何かを把握し、基本的な書き方を理解している。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。	小論文とは何かを把握し、基本的な書き方を身に付け、伝えたいことを明確にした文章を書こうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (4)	・例題を通して、感想文やレポートと小論文の違いを理解する。 ・小論文の基本的な構成を理解する。 ・テーマに沿って、小論文を書く。	○ ○ ○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの確認 小論文の分析 【思考・判断・表現】 小論文の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・グループ内で小論文を相互評価し、他者の助言を基に反省点をまとめる。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

プレゼンテーションの工夫

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報を効果的に伝えるための効果的なスライドの作り方を理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	情報を効果的に伝えるための効果的なスライドの作り方を理解し、発表する話題を決め、情報を収集、整理し工夫して伝えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (4)	・実例を見ながら見やすいスライドの特徴を理解する。 ・学校について中学生に発表することを想定し、必要な情報を収集する。 ・収集した情報を分かりやすくスライドにまとめる。	○ ○	 ○	○ ○	【知識・技能】 授業プリントの確認 スライドの分析 【思考・判断・表現】 スライドの分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・クラスでの発表を通じて、自分の発表の反省点を明確にする。		○	○	【思考・判断・表現】 発表の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

レポートを書く

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
レポートに必要な要件と基本的な書き方を理解している。	「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。	レポートに必要な要件と基本的な書き方を理解し、自分の考えが効果的に伝わるかなどを吟味して、文章全体を整えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (6)	・例題を通して、感想文や小論文とレポートの違いを理解する。 ・レポートの基本的な構成や要件を把握する。 ・レポート作成のためにアンケートを作成しする。 ・アンケート結果を基にレポートを作成する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	【知識・技能】 授業プリントの確認 レポートの分析 【思考・判断・表現】 アンケート、レポートの分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (1)	・グループ内でレポートを相互評価し、自分の改善点を明確にする。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

通信文を書き分ける

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
さまざまな通信文の書き方やマナーを理解している。	「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。	さまざまな通信文の書き方やマナーを理解し、自分の思いや考えが効果的に伝わるように吟味し、文章全体を整えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (4)	・通信文の種類を理解し、目的に即して使い分ける。 ・通信文に適した言葉遣いを身に付ける。 ・頭語や結語、時候の挨拶といった文書作成時に必要な知識を身に付ける。 ・保護者に向けて便箋に手書きで手紙を作成する。	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	【知識・技能】 授業プリントの確認 手紙の分析 【思考・判断・表現】 手紙の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (1)	・グループ内で手紙を相互評価し、自分の改善点を明確にする。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

電子メールを活用しよう

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電子メールの特徴や送る際のマナーを理解している。	「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。	電子メールの特徴や送る際のマナーを理解し、読み手の同意が得られるよう文章の構成や展開を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (2)	・他のメディアと比較して電子メールのメリットとデメリットを考える。 ・電子メールを使用する上でのトラブル事例を基に使用する際の注意事項を考える。 ・電子メールを送る際のマナーを理解する。 ・条件を確認し、電子メールの文面を考え、実際に送信する。	○ ○ ○	○	○ ○ ○	【知識・技能】 授業プリントの確認 電子メールの分析 【思考・判断・表現】 電子メールの分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (1)	・グループ内で電子メールを相互評価し、自分の改善点を明確にする。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

ビブリオバトルをしよう

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	読書の意義や効用について理解を深めており、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を用い、話の構成や構成を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (2)	・本を決め、紹介の構成を練る。 ・聞き手を惹きつけるための工夫を考える。 ・リハーサルを行い、改善する。	○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 授業プリントの確認 【思考・判断・表現】 授業プリントの分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・クラスでの発表を聞き、自分の考えや評価を記入する。 ・他者の発表と自分の発表を比較し、改善点を確認する。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 発表の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

小論文②

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
統計資料の読み取り方とその情報のまとめ方を理解している。	「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。	統計資料の読み取り方とその情報のまとめ方を理解し、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (3)	・さまざまな資料の種類を知り、その特徴を理解する。 ・統計資料を読み取るにあたり、注目すべきポイントを把握する。 ・読みとった情報を基に小論文を作成する。	○ ○ ○	 ○	○ ○	【知識・技能】 授業プリントの確認 小論文の分析 【思考・判断・表現】 小論文の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・グループ内で小論文を相互評価し、他者の助言を基に反省点をまとめる。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

小論文③

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テーマ型小論文に対する考え方や文章構成を理解している。	「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。	テーマ型小論文に対する考え方を理解し、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (4)	・テーマに対して自身の主張を考えるために発想法を知る。 ・いくつかのテーマに対して発想法を用いてアイデアを出す練習をする。 ・テーマに沿って小論文を作成する。	○ ○ ○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの確認 小論文の分析 【思考・判断・表現】 小論文の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・グループ内で小論文を相互評価し、他者の助言を基に反省点をまとめる。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

メディアについて学ぶ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実用的な文章などの種類や特徴について理解をしている。	「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。	実用的な文章などの種類や特徴について理解をし、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (3)	・様々なメディアについて学び、その特徴を理解する。 ・インターネットを活用した情報収集の留意点について学ぶ。 ・複数のメディアを比較する際の視点を身に付ける。	○ ○ ○		○ ○ ○	【知識・技能】 授業プリントの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (3)	・テーマに沿って複数のメディアを比較しながらレポートを作成する。		○	○	【思考・判断・表現】 レポートの記述の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

ディベート

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。	「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、話合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、互いの主張や論拠を吟味したり、話合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (4)	・ディベートの流れを理解する。 ・グループ内で役割を決定し、ディベートを実施する。 ・ディベートの流れについて振り返りを実施し、反省点をまとめる。	○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 授業プリントの確認 【思考・判断・表現】 授業プリントの分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・クラスでディベートを実施し、勝敗を決定する。 ・単元の振り返りを実施する。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ディベートの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

単元（題材）の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

古典探究

1 単元名：

『伊勢物語』初冠

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	登場人物の心情を読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

（7）時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文の出典や作者について確認する。 伊勢物語の概要を学ぶ。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (5)	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の重要語句の意味を覚える。 登場人物の関係性や、当時の文化について学習する。 本文中の文法事項を確認する。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえ、それぞれの歌についての類似点・相違点を考え、ワークシートにまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元（題材）の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

古典探究

1 単元名：

『大鏡』 道長の剛胆

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	時代背景を踏まえながら内容を積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文の出典や作者について確認する。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (6)	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の重要語句の意味を覚える。 本文における時代、場所等の背景について確認する。 本文中の敬語表現を確認する。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえ、道隆・道兼・道長の人物像をまとめ、比較し、ワークシートにまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

古典探究

1 単元名：

『史記』廉頗・藺相如

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作品の内容や解釈を読み取るために、古典を読む上で必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解をしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	内容を積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 これまでに学習した漢文文法について復習する。 本文の出典について確認する。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (5)	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の重要語句の意味を覚える。 本文における時代、場所等の背景について確認する。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 	○ ○ ○		○ ○ ○	【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえ、藺相如はどのような行動で対抗しようとしたかを読み取り、自分の言葉でワークシートにまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元（題材）の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

古典探究

1 単元名：

『源氏物語』車争ひ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	登場人物の心情を読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

（1 2）時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文の出典や作者について確認する。 源氏物語の概要を学ぶ。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (10)	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の重要語句の意味を覚える。 登場人物の関係性や、当時の文化について学習する。 本文中の文法事項を確認する。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえ、場面ごとの登場人物の心情を考える。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元（題材）の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

古典探究

1 単元名：

『孟子』

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作品の内容や解釈を読み取るために、古典を読む上で必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	内容を積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

(1 2)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 これまでに学習した漢文文法について復習する。 作者について確認する。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (10)	<ul style="list-style-type: none"> 本文の場面に至るまでの背景について確認する。 本文を書き下し文に直す。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 本文中の漢詩について形式、内容を理解する。 	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 孟子が「不忍人之心」があると主張するのはどのような根拠からであるかを考え、自分の言葉でワークシートにまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元（題材）の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

古典探究

1 単元名：

『方丈記』ゆく河の流れ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。

3 単元（題材）の指導と評価の計画

（14）時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 これまでに学習した古典文法について復習する。 作者について確認する。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (12)	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の出典や作者について確認する。 本文中の重要語句の意味を覚える。 登場人物の関係性や、当時の文化について学習する。 本文中の文法事項を確認する。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえ、「無常」に対する作者の考えについて考え、自分の言葉でワークシートにまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

地形

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地形、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	地形、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【地形の成因と地球表面の起伏】 衛星画像や模式図を用いて、地球表面の起伏の状態について読み取るとともに、地形の形成要因について考察し、表現する。	○	○		〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (1)	【地球規模の大地形】 ・変動帯の特徴とその形成過程をプレート運動との関係からとらえるとともに、人間生活との関係について理解する。 ・主題図を用いて、大地形の分布の特徴について、プレート境界や地震帯・火山帯分布との関係から考察し、表現している。 ・景観写真や模式図等の諸資料から、安定地域の特徴や形成過程、人間生活との関係について考察する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
3 (1)	【河川流域と海岸にみられる小地形】 ・変動帯に見られる小地形の一つである河川がつくる地形の特徴とその形成過程、人間生活との関係について理解する。 ・景観写真や模式図を用いて、海岸地形やサンゴ礁地形の特徴とその形成過程、人間生活との関係について考察し、表現する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
4 (1)	【そのほかの特徴的な小地形】 氷河地形や乾燥地形、カルスト地形の特徴とその形成過程、人間生活との関係について考察する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

気候

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
気温や降水量風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。	気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【気候の成り立ち】 気大循環による風の流れの特徴と、それによって形成される降水量分布の特徴から、大気大循環と気候について理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (1)	【気候と生態系】 ・海洋と陸水における水の循環が、気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて理解する。 ・模式図や主題図を用いて、海洋と陸水における水の循環が、気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて考察し、表現する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (1)	【世界の気候区分】 ・世界規模での各気候帯の分布の特徴をふまえ、各気候帯と植生や土壌との対応関係について理解する。 模式図を用いて、世界規模での各気候帯の分布の特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
4 (2)	【さまざまな気候帯】 ・各気候区の種類基準の理解をふまえ、雨温図やハイサーグラフの作成・読み取りを通じて、各気候区について理解している。 ・各気候区の種類基準の理解をふまえ、雨温図やハイサーグラフを作成し、それを読み取ることで気候区を判別し、その特徴について考察し、表現する。 ・各気候の違いがどのような要因で生まれ、それが人々の生活にどのような影響を与えているのか、その関係性について多面的・多角的に考察する。		○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

日本の自然環境

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて理解している。	日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【日本の地形】 ・日本の地形の特徴の理解をふまえ、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (1)	【日本の気候】 ・日本の気候の特徴の理解をふまえ、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解する。 ・主題図や雨温図を用いて、日本の気候の特徴を理解するとともに、衛星写真や模式図を用いて、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (2)	【開発に伴う災害と防災・減災の取り組み】 ・防災・減災の取り組みについて把握するとともに、自助、共助、公助の観点からその取り組みの重要性について理解する。 ・ハザードマップ等を用いて、防災・減災の取り組みについて把握するとともに、自助、共助、公助の観点からその取り組みの重要性について考察し、表現する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

地球環境問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて理解している。	さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【地球環境問題とは】 ・地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について学び、日本における公害への取り組みについて理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (2)	【さまざまな地球環境問題】 ・地球温暖化、森林破壊、砂漠化、大気汚染など、世界で起こっている環境問題とその取り組みについて理解する。 ・主題図や模式図、写真などの諸資料からそれぞれの環境問題の発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について考察し、表現する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (1)	【地球環境問題の解決に向けた取り組み】 ・日本や世界の環境問題の歴史的な経緯と現状について把握するとともに、問題解決のための具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について、多面的・多角的に考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

農林水産業

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。	自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	農林水産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【農業の発達と分布】 ・農業の発達と分布は、どのような自然条件や社会条件の影響について捉える。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【農業の地域区分】 ・世界各地に自給的農業・商業的農業・企業的農業が立地している現状と、その特色を理解する。 ・それぞれの農業が立地・発展した背景を、自然環境や社会環境、歴史的経緯などを踏まえながら捉える。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【現代世界の農業の現状と課題】 ・農業のグローバル化がそれぞれの国の農業や人々の生活に与える影響を理解する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
4 (1)	【日本の農業の現状と課題】 ・日本の農業の特色を理解し、日本の農業が抱える課題とその対応を理解する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
5 (1)	【世界と日本の林業】 ・木材は主にどの地域で伐採され、どのように利用されているのか捉える。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
6 (1)	【世界と日本の水産業】 ・どのような水産物が、どのような水域で漁獲されているのか捉える。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

食料問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解している。	食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	食料問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界の食料問題】 ・世界の食料自給率を不安定にしている要因を、食料分配の偏りという側面から理解する。 ・飢餓や飽食が及ぼす影響について考察する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
2 (1)	【日本の食料問題】 ・世界有数の食料輸入国である日本の食料輸入における問題点や、食料自給率を高めるために必要な取り組みについて考察する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

エネルギー・鉱産資源

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。	世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【エネルギー資源の種類と利用】 ・エネルギー資源の利用の変化を、産業革命やエネルギー革命を通して理解する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
2 (2)	【化石燃料の分布と利用】 (1) 石油 ・エネルギーの要である石油の生産と消費、その用途と人間生活との関わりを理解する。 (2) 石炭・天然ガスと新たな化石燃料の開発 ・埋蔵量の多い石炭と需要が高まる天然ガスの分布や特性、用途を理解し、新たな展開としてのシェールガスなどの開発と課題を考える。	○	○	○	[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容
3 (2)	【電力の利用】 (1) 世界の電力生産 ・2次エネルギーとしての電力の特性と、国によって異なる電力生産の方法を理解する。 (2) 再生可能エネルギーの利用と開発 ・太陽光や風力などの再生可能エネルギーの種類や導入状況、有効利用の方法や課題を理解する。	○	○	○	[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容
4 (1)	【鉱産資源の種類と利用】 ・鉱産資源の生産と分布の特徴を資源の種類ごとに理解する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

資源・エネルギー問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて理解している。	これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【資源・エネルギーをめぐる課題】 ・これまでの限りある資源をどのように利用するかという考え方から、今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要か考える。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (1)	【日本の資源・エネルギー問題】 ・これまでの日本は資源を輸入に依存してきたことを理解する。 ・資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような取り組みが必要か考える。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

工業

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて理解している。	さまざまな製品を生み出し、人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【工業の発達と種類】 ・工業の特徴および発達と種類を、歴史的経過から理解し、集約度による工業の分類を、発達段階と関連させて考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【工業の立地】 ・工業の立地について、工業の立地因子や立地条件による決定の要因を理解し、立地によって分類した工業の特徴と具体的な工業例をとらえる。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【世界の工業地域】 ・工業が生み出す付加価値やその内訳は、国による違いが大きいことを理解する。 ・新興工業国の台頭とBRICSの工業化の共通性を考える。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
4 (3)	【現代世界の工業の現状と課題】 (1) 繊維工業 ・繊維工業が盛んな地域とその理由、アパレル産業で進む国際分業のしくみを理解し、アジア諸国とヨーロッパ諸国の繊維工業の違いについて考える。 (2) 重化学工業と電気機械工業 ・重化学工業と電気機械工業における現代の特徴を理解し、ファブレス企業とエレクトロニクス受託サービス企業の関係における、製品生産のしくみをとらえる。 (3) 自動車産業 ・部品数が多くすそ野が広い自動車産業では、多国籍企業化と現地化の進展が進んでいることを理解する。	○ ○ ○		○ ○ ○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容 〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容 〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
5 (1)	【工業の知識産業化とスタートアップ企業】 ・先進国の工業を中心に知識産業への転換が進んでいる状況や技術革新がスタートアップ企業の誕生を促したことを理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
6 (1)	【日本の工業】 ・日本の工業の発達と変化を時代背景と諸外国との関係でとらえ、日本企業の海外進出の意味と国内産業への影響について理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

第3次産業

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようなになっているかについて理解している。	経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようなになっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	第3次産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【経済発展と第3次産業】 ・先進国を中心に世界各国では産業構造の高度化が進展していることを理解する。 ・先進国で第3次産業が拡大している状況を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【商業の現状と変化】 ・情報化とモータリゼーションの進展によって、日本の商業は変化してきたことを理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【商業以外のさまざまな第3次産業】 ・第3次産業の立地と都市の発展との関わりを理解する。 ・交通・通信の発達に伴い、運輸業や倉庫業の役割が変化してきていることを理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

交通・通信

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて理解している。	社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界を結ぶ交通】 ・航空交通網が世界に与えた影響とその課題について理解する。また、水上交通や陸上交通が果たしてきた役割と、今後期待される姿について考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【日本の交通の特徴】 ・輸送手段や交通網の発達によって、社会や人々の生活が変化してきたことを理解する。加えて、交通公共機関の利便性の向上と問題点について考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【情報通信の発達】 ・情報化社会のこれからの展望と、情報格差から生じる諸問題を捉える。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

観光

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について理解している。	日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【余暇の拡大と観光産業】 ・国際観光が活発になった背景には、情報通信技術（ICT）の発達、交通機関の発達による時間距離の短縮があることを理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【日本の観光とその変化】 ・日本の観光産業の変化と外国人観光客の誘致の取り組みを理解する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

貿易と経済圏

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて理解している。	拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界の貿易と地域間格差】 ・国際分業の意味と成立について理解するとともに、各国の貿易の実態を考察する。 また、貿易の地域間格差を理解するとともに、今後の課題について考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (1)	【貿易の自由化と経済連携】 ・自由貿易体制の意味とGATTの果たした役割について、歴史的背景を踏まえて理解する。自由貿易を促進するために、世界の国々は新たな結びつきを形成していることを理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (1)	【日本の貿易】 ・日本の貿易の現状と課題を、貿易構造の変化という視点から考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

人口

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて理解している。	②増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界の人口】 ・人口分布の地域差について、自然環境や社会・経済の形態などの地域性から理解する。また、世界人口の推移とその課題、人口構成と人口転換の社会的・経済的背景を理解する。	○	○		[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現
2 (1)	【人口の移動】 ・国際的な人口移動の経緯と、その背景について理解する。	○		○	[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

人口問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。	社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【世界の人口問題】 (1) 出生率に関わる問題 ・先進国や発展途上国における、出生率の高低の違いについて、社会情勢や文化などのさまざまな背景から理解する。 (2) 高齢化に関わる問題 ・高齢化がもたらすさまざまな問題や課題について、具体的な国や地域の事例をもとに、その対策について理解する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【日本の人口問題】 ・ここ100年間における人口動態の変化や、人口分布の地域間格差、急速な高齢化と少子化、それに伴う労働力不足への対策について理解する。		○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

村落と都市

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解している。	村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について、多面的・多角的に考察し、表現している。	村落と都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【集落の成り立ち】 ・集落の発展過程において、自然条件よりも社会条件が強く影響するようになったことと、農業主体の村落と商業主体の都市に分化したことを確認し、変化の要因を考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【村落の形態と機能】 ・集落と散村に関して、それぞれの村落形態の特徴と成立の背景を把握する。また、それぞれの村落形態のもつ機能を理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
3 (1)	【都市の成立と形態・機能】 ・都市が成立する背景や発達するための条件を理解する。また、都市はさまざまな機能を備えており、特定の機能に特化した都市もあることを理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
4 (1)	【都市圏の拡大と都市の構造】 ・都市圏および都市の内部構造について、中心市街地の商圈などの具体例をもとに考察する。また、大都市の発達および機能の一極集中の現状を理解する。		○		〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

都市・居住問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。	世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【発展途上国の都市・居住問題】 ・発展途上国では、条件のよい職を求めて多くの人々が都市に流入し、都市問題の背景になっていることを理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【先進国の都市・居住問題】 ・先進国では、工業発展に伴う環境問題や、インナーシティ問題が発生していることを、ロンドンの事例などを通して理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【日本の都市・居住問題】 ・日本の三大都市圏における、人口集中に伴う諸課題を確認し、その解決策を考察する。日本の都市問題の解決策を、都心部の再開発や、郊外のニュータウン建設の具体例を通して理解する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

衣食住

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて理解している。	自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界の衣服と食生活】 ・地域の文化の意味を理解する。世界における衣服や食生活の特徴と多様性、地域的差異については、自然環境や宗教などの影響が大きいことを理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【世界の居住と衣食住の画一化】 ・生活文化の差異は、経済発展の度合いによって生じること、また画一化が進んでいることを理解する。日本の衣食住の特徴や変化を、世界との関わりのなかで理解する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

民族・宗教と民族問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて理解している。	世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	民族・宗教と民族問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界の民族・言語】 ・民族と国家の関係や、民族と言語の関係、国語や公用語をめぐる問題を理解する。先住民および少数民族について、それぞれの特徴や発生している諸問題を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【世界の宗教】 ・宗教の意義と人々の生活との関係、世界の主要な宗教の分布と特徴を理解する。宗教による日常生活や政治・社会制度への影響、世界各地への広がりについて、具体的事例から理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【さまざまな民族問題】 ・民族対立だけでなく、諸外国の思惑が事態をさらに複雑にし、民族問題を解決困難な状況に追い込んでいる側面を理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
4 (1)	【多文化の共生に向けた取り組み】 ・多文化主義政策を導入した国を確認し、民族共生のためのさまざまな制度やその現状を理解する。ほかの民族との共生のためには、コミュニケーションと相互理解が重要であることを理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

国家の領域と領土問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。	国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	国家の領域と領土問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【現代世界と国家】 ・国家の三要素、国境の種類や意義を確認し、現代世界における国家の意義や役割を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【領土問題と解決への取り組み】 ・国境にはさまざまな形態があることに気づき、その意味を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【日本の領域と領土をめぐる問題】 ・日本における、領域と領土をめぐる問題を取り上げ、その原因や現状を理解する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

中国

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	中国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【中国の自然環境】 ・中国の地形と気候について、沿海部と内陸部など地域による特色の差異を考察する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
2 (1)	【中国の政治体制と多様な民族】 ・中国が市場経済を導入した背景と、経済発展の状況を理解する。14億の人口を抱える多民族国家であることと、そのなかでの少数民族の現状、および人口問題と今後の課題を考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【中国の食生活と農業・水産業】 ・中国の農業の地域的な特色と食文化の多様性を関連づけて理解する。経済改革以降の中国における農業および水産業の変化を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
4 (1)	【中国の工業化と海外進出】 ・対外開放政策以降の中国における工業発展の要因と影響、および近年の海外進出について考察する。中国の経済発展による生活の変化について理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
5 (1)	【経済発展に伴うさまざまな課題】 ・内陸部から沿海部への人口移動とその背景、および経済格差に伴う課題と取り組みについて理解する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

韓国

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	韓国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【韓国が位置する朝鮮半島の自然環境】 ・朝鮮半島の自然環境について、日本との類似点と相違点について注目して考察する。	○		○	[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容
2 (1)	【韓国の歴史と生活文化】 ・朝鮮半島の文化の特徴と、日本への文化的影響について理解する。朝鮮半島の歴史の概略を確認し、南北分裂の現状について理解する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【産業の発展と生活の変化】 ・高度経済成長を経験した韓国の農業の変化と工業の特徴を理解する。急速な経済成長による都市化と、それに伴う人々の生活の変化を理解する。		○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

ASEAN諸国

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	ASEAN諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【ASEAN諸国の自然環境】 ・東南アジアの地形は大陸部と島嶼部とで異なること、気候は季節風（モンスーン）の影響を大きく受けることを理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
2 (1)	【ASEAN諸国の歴史と文化・民族】 ・歴史的な背景から、東南アジア地域にはさまざまな宗教、習慣、文化が伝播し、重層的な文化や複雑な民族構成が生まれたことを理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【ASEAN諸国の農業とその変化】 ・東南アジアの農業の特色を、自然環境との関係から考察する。東南アジアの自給的農業である稲作と、企業的農業であるプランテーションについて、その特色と変化を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
4 (1)	【ASEAN諸国の工業とその発展】 ・ASEANの結成と発展の歴史を理解する。輸出志向型の工業化を進めたASEAN諸国の工業の特徴をとらえ、それらの国々の現在の経済状況や課題を考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
5 (1)	【ASEANの変化と課題】 ・ASEAN域内において、工業化が進んでいる国と進んでいない国との間には大きな経済格差があること、重層的な地域協力が進められていることを理解する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

インド

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解している。	近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	インドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【インドが位置する南アジアの自然環境】 ・インドとその周辺の自然環境について、山脈や平野の位置、河川の流れや季節風（モンスーン）の影響などに注目して理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
2 (1)	【急速な経済成長を支えた産業の発展】 ・インドの工業の発展を、経済の自由化という側面から考察する。近年、インドのICT産業が成長している背景を考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【増加する人口と農村の変化】 ・インドにおける経済成長と人口増加を抑制するための取り組みを理解する。インドの自然環境と農業との関連を理解し、農業の近代化や食文化の変化が進行していることなどを考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
4 (1)	【インド社会の変化と経済格差の拡大】 ・ヒンドゥー教の伝統や慣習に基づいた、インドの伝統的な生活文化に生じている変化について、経済成長の側面から考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

西アジアと中央アジア

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を理解している。	自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現している。	西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【イスラームと人々の生活】 ・イスラームの成立と広がりを理解する。 イスラームの特徴とムスリムの生活との関わりを理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【交易の歴史と乾燥地域の農業】 ・生活していくために必要不可欠な水を、乾燥地ではどのように得ているか理解する。乾燥した気候の下で広く営まれる農業の特徴について理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【豊富な資源を生かして進められる開発】 ・西アジアと中央アジアにおける石油資源の分布と資源開発の状況を理解する。世紀湯資源に依存する西アジアの産油国の経済状況と問題点を考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

北アフリカとサハラ以南アフリカ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。	アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。	北アフリカとサハラ以南アフリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【歴史的な背景によって形成された多様な文化】 ・国境の多くが民族の分布と一致していないことから、諸問題が起こっていることを理解する。言語や宗教から、ヨーロッパ諸国による植民地支配やほかの地域との結びつきを考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (1)	【他地域との結びつきと人々の生活の変化】 ・北アフリカとサハラ以南アフリカにおける、人々の生活の変化や、他地域との結びつきについて理解する。サハラ以南アフリカが抱える課題について理解し、その解決策を考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (1)	【一次産品への依存とそれがもたらす課題】 ・主に産出される資源を理解するとともに、それが引き起こす問題について考察する。サハラ以南アフリカにおけるモノカルチャー経済の特徴や原因を理解し、その問題点について考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

EU諸国

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	EU諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【EUの成り立ちと結びつき】 ・ヨーロッパの言語と宗教の分布について理解する。EU誕生の背景と統合への歩みを、歴史のなかから理解する。EU域内において、人や物の移動が自由化されていく流れを理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【ヨーロッパの多様な農業と政策】 ・ヨーロッパの自然を背景とした多様な農業の特徴と分布について理解する。EUが実施した共通農業政策について理解し、抱える課題を考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (1)	【移り変わるEU】 ・ヨーロッパの工業における分布や特徴について、歴史的な視点を含めて理解する。EU統合による工業の変化やヨーロッパの新しい工業について、その特徴を考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
4 (2)	【EU拡大による影響と課題】 ・EUの拡大により、EU全体として政治や法律の制度を一元化していくことが難しくなっていることを理解する。EUが抱える課題を、経済的統合、政治的統合の両面から考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

ロシア

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解している。	かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ロシアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【ロシアの成り立ちと体制変化】 ・ロシアの成り立ちを理解するとともに、計画経済から市場経済に転換したロシア経済の変化を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【体制変化が産業にもたらした影響と課題】 ・ロシアの農業や鉱工業の特徴を理解する。極東ロシアにおける資源開発の動きと、日本をはじめとする隣国との結びつきの現状を把握する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

アメリカ合衆国

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
移民国家としての多様性を持ち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	移民国家としての多様性を持ち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	アメリカ合衆国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【移民国家としてのアメリカ合衆国の発展】 ・アメリカ合衆国の移民国家としての発展の歴史と、時代による移民の変化や現代における移民の特徴を理解し、特に都市部における多民族社会の課題や都市内部の問題を考える。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【世界の食料生産の鍵を握るアメリカ合衆国】 ・アメリカ合衆国の農業の地域的特徴を自然環境と関連付けて理解し、合理的な農業経営や先進的な農業の特徴と、これらが食料需給に与える影響を考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (1)	【進展する科学技術と産業】 ・アメリカ合衆国の工業の発達と立地の変化について理解する。サンベルトの発展と、世界をリードする先端技術産業におけるアメリカ合衆国の優位性について理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
4 (2)	【多民族社会と移民増加に伴う課題】 ・地域によって異なる民族・宗教構成や経済格差と少数派の人々の存在を理解する。多民族社会の課題を把握し、これが抱える問題を地球的課題として考える。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

ラテンアメリカ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて理解している。	かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	ラテンアメリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【ヨーロッパの影響が強い社会】 ・ラテンアメリカにおける社会・文化の歴史的背景を概観し、地域によって異なる人種・民族構成や、さまざまな文化が融合したラテンアメリカの文化について理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (1)	【大土地所有制と農業の変化】 ・大土地所有制が経済格差の背景になっていることを理解する。ラテンアメリカの多様な農業と、近年の農業の変化、それに伴う課題について理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (1)	【工業化の進展と経済発展】 ・ラテンアメリカでは、豊富な鉱産資源が工業化の基盤となったことを理解する。経済発展に伴い、累積債務の問題や地域間の経済格差拡大などが発生していることを理解する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

オーストラリアとニュージーランド

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。	南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。	オーストラリアとニュージーランドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【移民の歴史と多文化社会】 ・オーストラリアおよびニュージーランドは、先住民と移民からなる多民族国家であることを理解する。オーストラリアの多文化主義への歩みと、その中心となる多文化教育の意義を理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (1)	【自然の恵みを生かして発達した産業】 ・オーストラリア、ニュージーランドにおける地域ごとの自然環境と農牧業との関わり、農牧業の特色を理解する。オーストラリアにおける鉱産資源の分布や輸出先を考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (2)	【強まるアジア・太平洋圏との結びつき】 ・近年、オーストラリアおよびニュージーランドは、アジア・太平洋圏の一員としての結びつきを深めていることを理解する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

日本文化のあけぼの

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。	自然環境と人間生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。	旧石器・縄文・弥生の各時代において、どのような遺跡があるのか主体的に調べるとともに、中国の歴史書を通して弥生時代に中国や朝鮮とどのような交流があったのか理解を進めている。

3 単元の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【人類の誕生】 氷河時代に大陸から渡ってきた大型動物と旧石器人の特徴について学習する。 【旧石器文化】 打製石器の特徴と旧石器人の移動生活について学習する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ 定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ ワークシートへの表現
2 (2)	【縄文文化】 弓矢などの新しい技術を修得し、縄文文化が成立したことを学習する。 【縄文人の生活】 定住生活の始まりと縄文時代の交易、信仰と風習について学習する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・ 生徒の発表
3 (3)	【弥生文化】 水稲耕作の開始や金属器の使用などを特徴とする弥生文化が成立したことを学習する。 【弥生人の生活】 水稲農耕の技術や弥生時代の墓制、身分制社会への変化について学習する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ 定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・ 生徒の発表
4 (3)	【小国の分立】 中国の歴史書や国内の遺物から、小国の分立について学習する。 【邪馬台国連合】 「魏志」倭人伝や関連する遺跡から、邪馬台国による政治的連合体について学習する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ 定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ ワークシートへの表現

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

古墳とヤマト政権

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古墳文化の展開、ヤマト政権の形成と飛鳥の朝廷の政治と文化などを基に、古代の政治・社会と文化の特色を理解している。	南北朝時代や隋などの中国王朝・朝鮮との関係と政治や文化への影響などに着目して、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈などを根拠を示して表現している。	各地の古墳などの考古資料や飛鳥文化の遺産を主体的に調べるとともに、中国や朝鮮との交流を中国・朝鮮や日本の史料を通して理解を進めている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【古墳の出現とヤマト政権】 箸墓古墳など古墳の出現とヤマト政権の誕生について学習する。 【古墳文化】 前期・中期・後期古墳の特徴について学習する。	○	○		〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (3)	【ヤマト政権と東アジア】 好太王碑文と『宋書』倭国伝から、ヤマト政権の東アジアとの交流について学習する。 【大陸文化の伝来】 渡来人の来日と儒教や仏教の伝来について学習する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (2)	【古墳時代の人びとの生活】 豪族の居館や須恵器の特徴、古墳時代の祭祀と風習について学習する。 【ヤマト政権の政治組織と古墳の終末】 氏姓制度と磐井の乱、終末期古墳の状況について学習する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
4 (2)	【東アジア情勢の変化とヤマト政権】 朝鮮半島でのヤマト政権の後退と隋の建国、推古天皇即位後の政治改革、隋との交流について学習する。	○	○		〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
4 (2)	【飛鳥文化】 7世紀前半を中心に、中国大陸・朝鮮半島との交流により展開した飛鳥文化について学習する。	○		○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

律令国家の形成

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響や、大化の改新以降の政治過程を理解している。</p> <p>律令体制の整備について、遣唐使の派遣との関わりなどに着目して理解している。</p> <p>奈良時代の政治と天平期の仏教文化の特色を理解している。</p> <p>平安初期の政治とその後の律令体制の変容について、蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて理解している。</p>	<p>律令体制について、政治や地方の動向なども踏まえて多角的に考察し、表現している。</p> <p>諸勢力の対立と土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>盛唐文化の受容を踏まえ、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。</p> <p>桓武天皇や嵯峨天皇の政策に着目して、律令制の変容について考察し、表現している。</p>	<p>律令体制の成立過程とのつながりを明らかにし、平城京における政治史の流れに着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>隋・唐などの中国王朝から受容した文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。</p> <p>東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察している。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(9) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<p>【律令国家への道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大化の改新や律令国家が成立するまでの政治過程について、東アジアの変動を踏まえて考察する。 ・律令国家の仕組みや、律令制が日本の歴史に与えた影響について理解する。 	○	○		<p>〔知識・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (2)	<p>【平城京の時代】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と東アジアとの関係について、使節や留学生・僧の往来に着目して考察する。 ・奈良時代の政治の流れを理解し、その背景について考察する。 	○	○		<p>〔知識・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (2)	<p>【律令国家の文化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白鳳文化の形成過程について考察する。 ・天平文化について、国家鎮護を目的とした国家仏教や唐の影響を強くうけた美術や絵画の特色に着目して考察する。 	○		○	<p>〔知識・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
4 (2)	<p>【律令国家の変容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桓武・嵯峨天皇による律令制度の建て直しと、その後の政治制度の変質について考察する。 ・密教の広まりや、神仏習合などの仏教の日本化が進んだこと、さらに弘仁・貞観文化の特色について考察する。 	○	○	○	<p>〔知識・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

貴族政治の展開

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
藤原北家の発展過程や地方支配の変化を資料から読み取り、摂関政治を理解している。吸収してきた中国文化をふまえて国風文化が形成されたことを理解している。浄土信仰が広まった背景について、当時の人びとの心のありようを読み取る技能を身につけている。武士団の仕組みや武士の反乱、成長などに着目して、律令体制や地方社会の変容を理解している。	地方支配の変化に着目し、摂関政治の特質とその後の展開について考察し、根拠を示して表現している。国風文化の形成について、かなの成立などが、後の日本文化におよぼした影響について考察し、表現している。土地制度の変化について、史料を読み取りながら考察し、根拠を示して表現している。	東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察し、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。摂関時代の政治の在り方と文化との関係を考察している。国司や地方支配の在り方の変化、武士の出現を明らかにしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【摂関政治】 ・ 9～10世紀にかけての藤原北家の勢力拡大や、律令制支配の衰退と地方支配の仕組みの変質について考察する。 ・ 東アジアの変動が、日本の対外関係に与えた影響を考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ 定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ ワークシートへの表現
2 (2)	【国風文化】 ・ 国風文化の成立について、東アジア社会の変動と関連させて考察するとともに、国風文化が日本の伝統文化に与えた影響について考察する。 ・ 浄土信仰という仏教の新しい動きについて、その社会的な背景とともに考察する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ 定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・ 生徒の発表
3 (3)	【荘園の発達と武士団の成長】 ・ 寄進地系荘園の成立など土地制度が変化したことについて考察する。 ・ 棟梁を中心とした大武士団が成立していく過程や、次第に政治的な力を持つようになったことについて考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・ 生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

院政と武士の進出

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
貴族政治や土地支配の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開、文化が庶民や地方に広まったことなどについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武家政権の成立について理解している。	武士が台頭する契機や、この時代の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。	中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【院政の始まり】 ・外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景を考察する。 ・院政がどのように成立し、展開したのか、古代から中世への歴史の転換と関連づけて考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (3)	【院政と平氏政権】 ・院の信任を得て台頭した平氏が、保元・平治の乱を通じて勢力を拡大し、政権を獲得した過程を理解し、その政権基盤や特色などについて考察する。 ・院政期に、どのような文化が形成され、広まったかについて考察する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

武家政権の成立

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質について理解している。モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。	幕府と朝廷の二元的支配構造の特色を、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。鎌倉時代の農業・商工業の発達による社会の変動や御家人の窮乏について多面的・多角的に考察し、表現している。宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流と文化への影響を多面的・多角的に考察し、表現している。	鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成、公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。武家政権成立期の宗教や文化にみられる特色を、平安時代と比較しながら主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【鎌倉幕府の成立と展開】 ・平氏の滅亡、鎌倉幕府成立の経過や幕府の支配機構、将軍と御家人との主従関係などについて理解する。 ・北条氏の台頭から、執権政治を確立していく過程について理解する。 ・地頭・荘官として荘園・公領の支配をしつつ、戦時には一族を率いて戦った御家人の生活と御家人による地域支配について土地制度の仕組みを踏まえ考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (2)	【モンゴル襲来と幕府の衰退】 ・モンゴル襲来の国際的な背景と、それに対する幕府や朝廷の対応を理解する。 ・モンゴル襲来後の御家人の窮乏と、徳政令発布などの幕府の対応、御家人の反発による幕府政治の動揺を考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (2)	【鎌倉文化】 ・武家政権成立期の文化の特色を、国際関係を踏まえて考察する。 ・時代の要請にこたえた新しい仏教の成立や、それに刺激を受けた旧仏教の改革の動きなど宗教界の動向を踏まえ、時代の変化に対応した新しい傾向がみられるようになったことを理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

武家社会の成長

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開などについて、情報を収集して理解している。諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、庶民が台頭し自治の村が成立したことを理解している。室町時代における多様な文化の形成や融合について、諸資料から読み取る技能を身につけている。戦国大名の領国統治の特徴を理解している。	南北朝の動乱と日本列島の地域社会の変質や、東アジアの変化とその影響について、考察し、表現している。一揆が形成され広まった背景や一揆の構造について、考察し、表現している。室町文化と東アジアとの交流を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。戦国時代の地域の多様性を考察し、表現している。	武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、この時期の政治や社会の特質を見出そうとしている。室町時代に成立した村の自治について課題を設定し、主体的に追究しようとしている。室町文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【室町幕府の成立】 ・鎌倉幕府の滅亡や建武の新政、新政に対する武士や民衆の反発について考察する。 ・建武の新政の崩壊、南北朝の動乱を経て室町幕府の成立と体制について理解する。 ・東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (2)	【下剋上の社会】 ・農民が自治組織を形成し、土一揆へと発展するなかで、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ・産業の発達による庶民の台頭を踏まえ、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (2)	【室町文化】 ・公家や武家、庶民などの文化の形成や融合を踏まえて、室町期の文化的な特色について考察する。 ・室町時代の時期ごとの芸術・宗教の特色や、それらが庶民や地方へ広がっていったことを考察する。	○		○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
4 (2)	【戦国の動乱】 ・戦国大名や、自治的に都市を運営した人びとの活動について、諸地域の地理的条件などと関連づけて考察する。 ・琉球の文化の形成と地理的特性を理解し、琉球王国の成立と繁栄の国際的な背景を考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

近世の幕開け

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。安土桃山時代の文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化のなかにとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。	織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。豊臣政権による朝鮮出兵から、対アジア認識を含め一連の政策のもたらした影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現しようとしている。豊臣政権の政策が村落・都市や対外政策に与えた影響を多面的・多角的に追究しようとしている。桃山文化の特徴について、アジア各地のヨーロッパ諸国との交流などに着目して、主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【天下人の登場】 ・銀の交易や鉄砲とキリスト教の伝来を、大航海時代の展開に関連させて世界史的視野で考察し、中世から近世への時代の転換を理解する。 ・織豊政権の特色と意義、その後の影響について理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (2)	【豊臣政権と桃山文化】 ・豊臣政権の村落や都市の支配、対外政策から、中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。 ・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、さまざまな文化財をもとに時代的背景を踏まえて考察する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

幕藩体制の成立と展開

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成を理解している。寛永期の文化が成立したことについて、読み取る技能を身につけている。文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治に至る推移について理解している。産業の発達と交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達について理解している。17世紀の文化の特徴などについて、読み取る技能を身につけている。	幕藩体制の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。江戸幕府による貿易統制、禁教の徹底や、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易などについて考察し、表現している。人びとの生活や意識がどのように変化したのかを考察し、表現している。交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達を考察している。近世前期における文化について、多面的・多角的に考察し、表現している。	幕藩体制が確立する画期について、主体的に追究している。江戸幕府の鎖国政策について、主体的に追究している。幕藩体制が安定していくなかで、江戸幕府の諸政策を主体的に追究している。近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相を明らかにしている。上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしている。

3 単元の指導と評価の計画

(9) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【江戸幕府の成立】 ・江戸幕府が法や制度の整備の下で、幕藩体制を確立したことについて理解する。 ・幕藩体制の確立期の社会を、多面的・多角的に考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (2)	【江戸初期の外交と文化】 ・幕府がキリスト教禁教と「鎖国」政策を展開した要因について考察し、四つの窓口を通じた対外関係を理解する。 ・寛永期の文化を、幕藩体制成立の時代背景を踏まえて理解する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (2)	【幕政の安定】 ・江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ・諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
4 (2)	【経済の発展】 ・新田開発や農業技術の進歩による、農業生産のめざましい発達を考察する。 ・流通網が発達した様子や、近世の金融制度の特徴を理解し、商業の発展と大都市の形成について考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
5 (1)	【元禄文化】 ・上方の豪商を中心に町人文化が形成されたことを理解する。 ・儒学の特徴を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。	○		○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

幕藩体制の動揺

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、幕藩体制の変容や宝暦・天明期の文化の特色を理解している。幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。近世後期の庶民の生活と文化の特色について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。	米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。国際情勢の変化と影響などに着目して、幕藩体制の動揺について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。近世後半の文化の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。	幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。近世後期に形成された文化について、学問・教育・出版文化や庶民文化の事例を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【幕政の改革と宝暦・天明期の文化】 ・幕府の財政が悪化するなか実施された享保の改革や田沼意次の諸政策とその影響を考察する。 ・宝暦・天明期の学問・思想、新たな文学や美術などについて、社会の変容や幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (3)	【江戸幕府の衰退】 ・寛政の改革に乗り出した松平定信の諸政策について、飢饉や一揆の発生を踏まえ考察する。 ・列強の接近に対し、「鎖国」体制維持のための諸政策について考察する。 ・国際情勢の変化と影響に着目し、幕府権力がおこなった天保の改革と、藩政改革に成功した雄藩の改革について考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (2)	【化政文化】 ・化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 ・身近な地域にある記念碑の調査を事例に、地域の歴史や文化について考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

近世から近代へ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アジア諸国の変化や貿易開始に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯や貿易のおよぼした影響などを理解している。政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について理解している。	欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目して、日本の政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。日本がどのような契機によって近代の国家・社会へと向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。	日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【開国とその影響】 ・ 対外政策の変容と開国に至る動き及び締結された条約の不平等性について考察する。 ・ 貿易の実態とその影響による経済の混乱について考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・ 生徒の発表
2 (3)	【幕府の滅亡と新政府の発足】 ・ 討幕運動と尊王攘夷、江戸幕府滅亡、新政府の発足に至る過程を理解し、どのような国家が構想されたか考察する。 ・ 近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ 定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・ 生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

近代国家の成立

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。	諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。国内体制を欧米の水準に合わせることを改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。	明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【明治維新】 ・明治維新の諸政策、特に廃藩置県・地租改正・富国強兵・殖産興業政策を通して、日本の近代化の特徴について考察する。 ・欧米の文化・思想の導入や近代化政策に対する士族反乱・農民一揆の発生と、言論闘争への転換を理解する。 ・明治初期の外交政策から、対欧米外交と、対朝鮮・清外交の違いを考察する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (4)	【立憲国家の成立】 ・自由民権運動を通じて民衆意識も近代化していったこと、また運動の変容や地域社会の変化について考察する。 ・大日本帝国憲法制定の意義や憲法の性格を、多角的に考察する。 ・資料調査の体験を通して、歴史資料と主体的に向きあい、文化財を守り伝えることの意義を考察する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

近代国家の展開と国際関係

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日清・日露戦争の前後における条約改正の実現、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて読み取り、日本の国際的地位の変化を理解している。第一次世界大戦前後の国民の政治参加に着目して、大正政変や米騒動、政党内閣の成立について読み取り、理解している。ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、政党政治の成立について理解している。	議会在戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて考察し、根拠を明らかにして表現している。大戦中の日本の動向を踏まえ、アジアや欧米諸国との関係がどのように変容したのか、しなかったのかを考察し、表現している。大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について考察し、表現している。	対外的な戦争が日本の近代化の過程のなかでもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【大陸政策の展開】 ・条約改正が国民の大きな関心を集めた背景と、条約改正が実現した諸条件について考察する。 ・日清戦争に至る経緯、下関条約と三国干渉の結果が国民におよぼした影響について考察する。 ・日英同盟から日露戦争に至る経緯、戦後の日本の国際的地位の変化と対外進出について、諸外国の動向と関連づけ考察する。	○		○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (2)	【第一次世界大戦と日本】 ・第一次世界大戦中の日本の東アジアにおける動き、これに対する各国の反応とその後の展開について考察する。 ・大正デモクラシーと本格的な政党内閣の成立の経緯を理解し、国民の政治参加の拡大について多角的に考察する。	○		○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (2)	【ワシントン体制】 ・ヴェルサイユ体制と、その後の国際協調の動きを理解し、日本の軍縮や協調外交がどのように展開されたか考察する。 ・不況のなかで社会運動が高揚し、普選運動など政党政治の発展から二大政党による「憲政の常道」に至るまでの意義について考察する。	○	○		〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

近代の産業と生活

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
産業の発展の背景と影響などに着目し、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究の風潮、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、情報を読み取る技能を身につけている。学問・芸術・出版・マス＝メディアの発展について、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。	地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について考察し、表現している。学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について考察し、表現している。工業国化や都市化と大衆化の発展などを踏まえ、市民生活と地域社会の変容について考察し、表現している。	産業の発展とそれによって発生した社会問題への対応について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。マス＝メディアや出版の発展によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【近代産業の発展】 ・日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ・近代産業の発展にともなう労働問題・公害問題の発生と政府の対応や労働運動の展開を考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (2)	【近代の文化】 ・西洋文化の積極的な流入と、伝統的な文化が接触し近代文化が成立したことに着目し、欧米思想の影響や生活の変化について考察する。 ・義務教育の普及・定着とともに、国家主義的傾向が浸透していくことを理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (2)	【市民生活の変容と大衆文化】 ・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、産業構造の変化や都市化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。 ・大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マス＝メディアの発展について理解する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

恐慌と第二次世界大戦

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、世界的な経済恐慌のもと、国内の経済対策と経済の動揺など、恐慌と国際関係について理解している。政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動など、軍部の台頭と対外政策について理解している。戦争の長期化と欧米諸国との外交関係など、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。	ワシントン体制下の協調外交のもと、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向について考察し、根拠を明確にして表現している。当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などを考察し、表現している。アメリカやイギリスなどの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について考察し、根拠を示して表現している。	当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人びとの議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【恐慌の時代】 ・第一次世界大戦後不況から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・内外情勢の変化に着目し、強硬外交の展開や、ロンドン海軍軍備制限条約が統帥権干犯問題に発展した経緯などについて考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・定期考査 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (3)	【軍部の台頭】 ・日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目し、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程を理解する。 ・恐慌から脱出し、国家主義が高揚するなかで、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。	○		○	〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (3)	【第二次世界大戦】 ・日中戦争から太平洋戦争に至る過程や戦争の長期化について、国民生活の変化や諸統制に着目して、全体主義的な国家体制が進展していく経緯を考察する。 ・太平洋戦争の開戦に至る日米関係や戦争の展開、終戦までの経緯について、国民生活への影響や国際情勢を踏まえ考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

現代の世界と日本

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、占領政策と諸改革について理解している。自由民主党の成立から、戦後の日本経済の成長について理解している。日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったこと、冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。	地域社会の変容にも留意しながら、占領前後の社会や思想・文化などを比較・考察している。外交事案がもたらした課題や日本の経済復興や高度成長、様々な社会問題の発生について考察し、その結果を表現している。経済大国となった要因や、国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について考察し、その結果を表現している。	戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、現代の日本との関係性を踏まえながら、追究しようとしている。高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえ、国内政治・経済の課題を見出そうとしている。冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、課題を見出して追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	①連合軍の日本占領の目的が非軍事化と民主化であったことを踏まえ、諸政策がその後の日本社会にどのような影響をもたらしたのか、考察する。 ②国際情勢の変化と関連づけて、日米安全保障条約による新たな日米関係が成立したことを考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (2)	①冷戦構造のなかで日本が国際社会に復帰したことについて、独立回復後の日本の動きを考察する。 ②高度経済成長政策の下で、国民生活は豊かになった反面、公害などの社会問題が発生したことについて考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (3)	①日本が中国との国交正常化を実現し、高度成長路線を修正しながら引き続き経済成長を維持しようとしたことについて考察する。 ②冷戦終結によって、国際政治の枠組みが大きく変化したことを理解する。 ③日本は深刻な不況が長引き、さまざまな解決すべき問題を抱えていることについて考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

第一次世界大戦と諸地域の変容

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。	第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【第一次世界大戦】 ・総力戦体制が列強および植民地に与えた影響について考える。 ・ソヴィエト連邦はどのようにして成立したのか理解する。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
2 (2)	【ヴェルサイユ体制と国際協調】 ・国際連盟の成立と国際協調の機運の高まりについて、ヨーロッパ諸国を相互に比較しながら、その経緯を考える。 ・第一次世界大戦後にはどのような国際体制が構築されたのか理解する。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (2)	【アジアのナショナリズムの台頭】 ・アジアのナショナリズムの台頭に、イギリス・フランス・日本などの政策はそれぞれどのような影響を及ぼしたのか考察する。 ・インド独立運動におけるヒンドゥーとイスラームの関係について、ガンディーの思想を踏まえながら理解する。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

第二次世界大戦と戦後の国際秩序

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第二次世界大戦の展開と大战後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。	世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察している。	戦間期における国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(15)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【世界恐慌とファシズム】 ・アメリカ・イギリス・ドイツの世界恐慌への対応について、相互に共通点と相違点を意識しながら理解する。 ・ナチ党が台頭し人々の支持を得た理由について、多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (2)	【満洲事変日中戦争】 ・日本が中国にどのように進出しようとしたのか、満洲事変から日中戦争に至る過程を理解する。 ・中国・日本・国際連盟のそれぞれの立場から、どのようにすれば日中戦争の勃発を防ぐことができたかを歴史的事実を根拠にしながら推論し、主体的に追究する。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (6)	【第二次世界大戦】 ・第二次世界大戦はどのように勃発し、どう展開したのか、またアジアの戦争とどう結びついたのか理解する。 ・日本の朝鮮・台湾の統治政策について、多面的・多角的に考察する。 ・連合国側が第二次世界大戦に勝利できた要因を複数挙げ、その中から重要な要因について主体的に追究する。	○	○	○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
4 (4)	【戦後の変革と冷戦のはじまり】 ・国際連盟と国際連合の違いについて、意志決定機関や武力制裁の有無などの観点を理解する。 ・冷戦がはじまった経緯を理解するとともに、それがヨーロッパ・アジア各地にどのような影響を与えたのかを考える。 ・朝鮮戦争がその後の世界史にどのような意義をもったか、冷戦構造の変化や朝鮮半島情勢の経過をふまえて主体的に追究する。	○	○	○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

冷戦と現代世界

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に，紛争解決の取組と課題を理解している。	国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。	紛争解決の取組と課題について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 単元の指導と評価の計画

(20)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (9)	【冷戦下の安全保障体制】 ・1970年代までの冷戦における「緊張と緩和」のそれぞれの事例について，具体的に考える。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (6)	【脱植民地化と非同盟】 ・戦後独裁体制がみられたアジア・アフリカ・ラテンアメリカの国を挙げ，独裁の特徴およびそれがうまれた理由について，主体的に追究しようとしている。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (5)	【冷戦の終結と現代世界】 ・アメリカ，ソ連，第三世界の政策の共通点と相違点を分析し，それらを多面的・多角的に考察し，表現している。	○	○	○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

世界経済の展開

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差是正の取組と課題を理解している。	国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	より平和で公正な社会の実現を目指し、主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

3 単元の指導と評価の計画

(20)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (5)	【冷戦と経済統合】 ・冷戦体制下においてどのような経済協力体制が築かれたのかについて理解している。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (5)	【第三世界の経済】 ・第二次世界大戦後のアジア・アフリカ諸国がおかれた経済的状況について理解している。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (5)	【産業構造と社会の変化】 ・経済活動を優先した結果としての環境破壊に対する疑義が、どのように現在の社会の価値観を変え、現在に至るのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○	【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
4 (5)	【グローバル化と新自由主義の時代】 ・新自由主義政策によって進行した経済格差を解決するための試みの例を複数挙げ、その効果について検証したうえで、最も重要だと考える事柄について主体的に追究しようとしている。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

古代文明

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエント文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解している。	古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜が人類に与えた意義などを考察し，表現している。	古代文明の歴史的特質について，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される世界各地の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【農耕と牧畜のはじまり】 ・農耕・牧畜の開始から国家の成立までの過程で，最も重要と考えられる変化は何か，主体的に追究しようとしている。		○	○	【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
2 (2)	【オリエント文明】 ・古代オリエントには，どのような特徴をもった文明がうまれたのか，また諸民族の侵入や移動は，オリエントの歴史にどのような変化をもたらしたのか理解している。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (1)	【インダス文明】 ・のちのインドの文明に影響を与えたものは何か，主体的に追究しようとしている。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
4 (1)	【中国文明】 ・古代中国の王朝がどのような特徴をもっていたかについて考察し，表現している。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

東アジアと中央ユーラシア

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。	東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，農耕民と遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを考察し，表現している。	古代中華帝国から生まれた文化のうち、のちの時代に影響を与えたと思われるものは何か，自身の生活や経験とも関連付けて，主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	【春秋・戦国時代の変動】 ・春秋・戦国時代におこった社会・経済的な変化について多面的・多角的に考察し，表現している。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (3)	【中国古代帝国と東アジア】 ・大陸と日本とのつながりについて理解している。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (3)	【中央ユーラシアの国家形成】 ・中央ユーラシアの諸民族が中国の歴史に与えた影響について，主体的に追究しようとしている。	○	○	○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

西アジアと地中海周辺

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
西アジアと地中海周辺の諸国家などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。	西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。	西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【オリエントの統一】 ・アケメネスの支配の特徴について、アッシリアとの違いも踏まえながら、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (6)	【ギリシア文明】 ・アテネの直接民主政は、現代の民主政と比べてどのような違いがあるか、またその違いを生み出した理由は何か、主体的に追究しようとしている。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (4)	【ローマ帝国】 ・ローマの共和政はどのようにして帝政へと変容していったのか理解している。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

西アジアと地中海周辺の変動とヨーロッパの形成

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解している。	西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを考察し、表現している。	西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察を深める。

3 単元の指導と評価の計画

(13)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【ビザンツ帝国とギリシア正教圏】 ・なぜビザンツ帝国が約1000年間も存続できたのか、主体的に追究しようとしている。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
2 (5)	【ラテン=カトリック圏の形成と展開】 ・ゲルマン人がヨーロッパでどのように移動し、建国したかについて理解している。	○			【知識・技能】 小テスト、定期考査
3 (5)	【イスラーム圏の成立】 ・イスラーム勢力の拡大について理解している。 ・宗教を異にする民族が互いに共存しながら社会を形成するための術を、主体的に追究しようとしている。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

公民

科目名：

政治・経済

1 単元名：

国際経済の動向と課題（2）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・南北問題について、その背景と現状について理解している。 ・発展途上国の中でも、高い成長を記録した国がある一方、絶対的な貧困に悩む国がある現状を理解している。 ・化石燃料と再生可能エネルギーの特徴について、それぞれ理解している。 ・パリ協定やSDGsの目標をめぐる現状と課題について理解している。 ・パリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができる。 ・先進国による援助の中心としてODAがおこなわれてきたことを理解している。 ・アフリカ経済の現状や日本のアフリカに対する経済協力のあり方、JICAによる具体的な活動事例などについて、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モノカルチャー経済に依存する経済上の問題について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・調べて整理したパリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標を踏まえながら、日本がその目標を達成・実現するための手段について協働的に考察し、適切に表現している。 ・日本のODAの特徴と課題はどのようなものか、資金の用途や貸与方式などの観点から協働的に考察し、適切に表現している。 ・アフリカをめぐる動向について調べたうえで、望ましい国際協力のあり方について協働的に考察し、それらを適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に貧困を解消するための具体的な行動について積極的に考察し、社会生活に生かそうとしている。 ・世界の貧困状況やそれを解消するための取り組みについて興味関心をもち、「国際経済格差の是正」を探究するための意欲を高めている。 ・地球温暖化や資源エネルギーをめぐる現状を理解したうえで、脱炭素社会の形成について興味関心をもち、「地球環境問題、資源エネルギー問題」を探究するための意欲を高めている。 ・国際社会における貧困と格差の解消について主体的に追究し、JICAによる支援活動などについても興味を持ち、それらの課題を意欲的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【発展途上国の課題と展望】 <ul style="list-style-type: none"> ・南北問題の解決に向け、発展途上国はどのように対応してきたのか、また南南問題とはどのようなものかについて理解する。 ・資源ナショナリズムや新国際経済秩序樹立に関する宣言などを通して協働的に考察する。 ・途上国間の経済格差について考察・理解する。 ・単元全体を振り返り、単元を貫く問いについて改めて答えを考える。 	○			【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
2 (2)	【地球環境問題、資源エネルギー問題】 <ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料はなぜ大量消費されるのか、また大量消費にともなう課題の解決に向け、どのような取り組みが進んでいるのかについて理解する。 ・エネルギー資源の歴史と化石燃料が大量消費される背景を考察・理解する。 ・地球温暖化問題をめぐる現状と課題について協働的に考察する。 ・単元全体を振り返り、単元を貫く問いについて改めて答えを考える。 	○			【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
3 (2)	【経済協力と日本の役割】 <ul style="list-style-type: none"> ・貧困や飢餓の問題に対して、先進国や国連はどう対応しているか、また日本のODAの現状と課題は何かについて理解する。 ・援助と開発の過程を確認し、望ましい国際協力のあり方について協働的に考察する。 ・単元全体を振り返り、単元を貫く問いについて改めて答えを考える。 	○			【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

数と式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①乗法の展開公式や因数分解の公式を理解している。 ②根号を含む式の加減乗法の計算ができ、分母の有理化ができる。 ③等式・不等式の性質を理解している。	①整式の計算を工夫して展開・因数分解などの計算ができる。 ②数を実数まで拡張する過程を確認し、有理数と循環小数を互に変換することができる。 ③絶対値を含む方程式・不等式の計算をすることができる。	①式の展開や因数分解、平方根や絶対値を含む式、等式・不等式の性質に関心を持ち、式の変形や計算に取り組もうとしている。 ②式の展開や因数分解、平方根や絶対値を含む式、等式・不等式の性質に関心を持ち、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○多項式の計算、式の展開、因数分解・分配法則や指数法則を理解して、計算する。 ・展開公式を利用して、式の計算をする。 ・公式を利用して、因数分解する。 ・工夫をして、展開や因数分解の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○	○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (3)	○実数、絶対値、根号を含む式の計算・循環小数を分数に、分数を小数に変換する。 ・根号を含む式の加減乗法の計算や分母の有理化の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○	○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○1次不等式、絶対値を含む方程式・不等式 ・1次不等式や連立1次不等式を解く。 ・問題文から不等式を立式し、解を求める。 ・絶対値を含む方程式・不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○	○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

集合と命題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①共通部分や和集合、ド・モルガンの法則を理解し、集合を求めることができる。 ②命題の真偽を判断し、必要条件・十分条件を区別することができる。 ③逆・裏・対偶の命題を述べることができる。	①逆・裏・対偶の命題の真偽を正しく判断することができる。 ②対偶や背理法を利用した証明法について理解する。	①集合の考え方のよさを認識し、事象の考察に活用しようすることができる。 ②命題と条件及び証明法などの考え方や体系について関心を持ち、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○集合 ・共通部分や和集合を求める。 ・ド・モルガンの法則を利用して、集合を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○命題と条件、逆・裏・対偶 ・命題の真偽を判断する。 ・命題の逆・裏・対偶の命題を延べ、真偽を判断する。 ・対偶や背理法を利用した証明法を理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

二次関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ②二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ③二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ④二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。	①二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ②二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○二次関数のグラフ、平行移動、最大最小、決定 ・二次関数の式を平方完成する。 ・二次関数の頂点や軸を求め、グラフをかく。 ・平行移動した二次関数の式を求める。 ・二次関数の最大値や最小値を式から求める。 ・与えられた条件をもとに二次関数の式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (3)	○二次方程式、放物線と直線の共有点 ・因数分解や解の公式を利用して、二次方程式を解く。 ・判別式を利用して、実数解の個数を調べたり、実数解をもつ範囲を求めたりする。 ・二次関数と直線の共有点の個数や座標を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (3)	○二次不等式、連立二次不等式 ・因数分解や解の公式、判別式、グラフを利用して、二次不等式を解く。 ・数直線を利用して、連立二次不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

図形と計量

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ②三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ③鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ④正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ⑤正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。	①図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 ②図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○直角三角形と三角比 ・直角三角形における正弦、余弦、正接の定義を理解する。 ・三角形の相互関係を理解し、三角比の値を求める。 ・ $90^\circ - \theta$ や $180^\circ - \theta$ の三角比の値を理解する。 ・三角比の等式を満たす θ の値を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○正弦定理と余弦定理 ・正弦定理や余弦定理の公式を利用して、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○三角形の面積、空間図形への応用 ・三角比を用いた三角形の面積の求め方を理解する。 ・平面図形と同様に空間図形における辺の長さや角の大きさを正弦定理や余弦定理を用いて求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

データの分析

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ②分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めることができる。	①データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ②複数の種類のデータから適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。	①事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○データの代表値と四分位数 ・データの平均値や中央値、最頻値を理解する。 ・四分位数と箱ひげ図の関係を理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (1)	○分散と標準偏差 ・データの数値から分散や標準偏差を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (1)	○散布図と相関係数 ・2つのデータから散布図を書く。 ・2つのデータの分散、共分散を求め、最終的に相関係数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

場合の数と確率

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ②具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ③確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ④独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 ⑤条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。	①事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ②確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ③確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。	①事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○集合の要素の個数と場合の数 ・集合の要素の個数や樹形図、和の法則、積の法則を利用して、場合の数を求める。 ・順列や円順列、重複順列の考え方を理解し、場合の数を求める。 ・組合せや同じものを含む順列の考え方を理解し、場合の数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (4)	○確率 ・基本的な確率の計算をする。 ・独立な試行の確率や反復試行の確率を求める。 ・条件付き確率を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (1)	○期待値 ・期待値を求める。 ・期待値を比較して、有利不利を判断する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

図形の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三角形に関する基本的な性質について理解している。 ②円に関する基本的な性質について理解している。 ③空間図形に関する基本的な性質について理解している。	図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。	①事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○三角形の外心・内心・重心とチェバの定理、メネラウスの定理 ・三角形の外心・内心・重心の性質を理解し、角の大きさや辺の比を求める。 ・チェバの定理やメネラウスの定理を用いて、辺の比を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○円に内接する四角形、円と直線、2つの円 ・円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求める。 ・接線と弦の作る角の性質を理解して、角の大きさを求める。 ・方べきの定理を用いて、辺の長さを求める。 ・2つの円の関係と共通接線について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○空間図形と多面体 ・空間図形におけるねじれの位置の関係や直線と面の関係を理解する。 ・正多面体の性質について理解する。 ・オイラーの多面体定理について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

数学と人間の活動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。	数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。	①人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (14)	○数と人間の活動 ・倍数の判定法を用いて、空位に当てはまる数字を求めることができる。 ・素因数分解を用いて、正の約数の個数や総和、2つ以上の整数の最大公約数や最小公倍数を求めることができる。 ・ユークリッドの互除法を用いて、最大公約数を求めることができ、1次不定方程式の整数解をすべて求めることができる。 ・記数法を理解し、他の進数法で数を表すことができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ②合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めることができる。	既に学習した関数の性質と関連付けて、簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察することができる。	①事象を分数関数や無理関数のグラフの特徴や合成関数や逆関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○分数関数 ・関数の式から双曲線のグラフをかくことができる。 ・平行移動した分数関数のグラフをかくことができる。 ・グラフから定義域や値域、漸近線を求めることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○無理関数 ・無理関数のグラフをかくことができる。 ・グラフから定義域、値域を求めることができる。 ・グラフを利用して平方根を含む不等式を解くことができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (3)	○逆関数と合成関数 ・1対1の関数について理解する。 ・逆関数を理解し、逆関数の式を求めることができる。 ・逆関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。 ・合成関数を理解し、合成関数の式を求めることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

数列の極限

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①数列の極限について理解し、数列 $\{r^n\}$ の極限などを基に簡単な数列の極限を求めることができる。 ②無限級数の収束、発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めることができる。	①式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができる。 ②数列の極限に注目し、事象を数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①事象を極限の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○数列の極限 ・数列の収束、発散について理解し、収束するときに極限値を求めることができる。 ・数列の極限値の性質を理解する。 ・数列の極限の大小関係を理解し、極限や極限値を求めることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○無限等比級数 ・公比 r による無限等比級数 $\{r^n\}$ の極限を調べる。 ・漸化式で定められた数列の極限を求めることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (3)	○無限級数 ・無限級数の和の収束と発散について理解する。 ・無限級数の和が収束する条件を理解する。 ・無限級数の性質を理解し、無限級数の和を求めることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

関数の極限

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①極限の概念や原理、法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、尺的に表現、処理したりする技術を身に付けようとしている。 ②関数の値の極限について理解している。	①式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができる。 ②関数の極限に注目し、事象を数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①事象を極限の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (5)	○関数の極限 ・関数の極限値の性質を利用して、極限値を求めることができる。 ・右側からの極限、左側からの極限について理解する。 ・指数関数、対数関数、三角関数の極限を調べる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (4)	○関数の連続性 ・関数が連続であるかどうか調べる。 ・ガウス記号を含む関数の連続性を調べる。 ・中間値の定理を理解し、範囲内における実数解をもつ証明できる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

微分法

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①微分可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求めることができる。 ②合成関数や逆関数の導関数について理解し、それを求めることができる。 ③三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解し、それらを求めることができる。	①導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察することができる。 ②関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察することができる。	①事象を微分法の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(18)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (8)	○微分法 ・極限を用いて、微分係数を求めたり、関数の微分可能性や連続性を調べたりすることができる。 ・定義にしたがって、導関数を求めることができる。 ・積の導関数、商の導関数を求めることができる。 ・合成関数や逆関数の微分を計算できる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (10)	○いろいろな関数の導関数 ・定義を理解し、三角関数の導関数を求めることができる。 ・定義を理解し、指数関数、対数関数の導関数を求めることができる。 ・対数微分法を用いて、導関数を求めることができる。 ・曲線の方程式や、媒介変数表示で表された曲線の導関数を求めることができる。 ・高次導関数を求めることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

微分法の応用

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりすることができる。	関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①事象を微分法の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (8)	○接線、関数の増減 ・微分を利用して、接線や法線の方程式を求めることができる。 ・平均値の定理を用いて、不等式の証明できる。 ・微分を利用して関数の増減表を書き、極値を求めることができる。 ・第2次導関数を利用して、関数のグラフの変曲点を求め、グラフをかくことができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (4)	○いろいろな微分の応用 ・微分や増減表を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・微分を利用して、不等式を証明したり、方程式の実数解の個数を求めたりすることができる。 ・微分を利用して、速度や加速度の大きさを求めることができる。 ・近似式の考え方を理解し、近似値を求めることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

積分法

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 ②置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 ③定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなどを求めることができる。	①関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察することができる。 ②極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察することができる。 ③微分と積分との関係に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①事象を積分法の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(35)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	○不定積分 ・ x^a や三角関数、指数関数の不定積分について理解し、計算することができる。 ・置換積分法や部分積分法を利用して不定積分を求めることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (8)	○定積分① ・様々な関数の定積分の計算できる。 ・絶対値を含む関数の定積分の計算できる。 ・定積分と微分の関係について理解し、問題を解くことができる。 ・置換積分法や部分積分法を利用して、定積分を計算する。 ・偶関数と奇関数の定積分について理解し、計算できる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (7)	○定積分② ・区分求積法を利用して、図形の面積や体積を求める方法を理解したり、和の極限を定積分の計算によって求めることができる。 ・定積分や区分求積法の考え方を利用して、不等式の証明ができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (14)	○積分法の応用 ・定積分を利用して、面積を求めることができる。 ・グラフを利用して、2曲線で囲まれた図形や楕円などの陰関数の面積を求めることができる。 ・媒介変数表示で表された曲線を含む図形の面積や回転体の体積などを求めることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

平面上のベクトル

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍について理解している。 ②ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。	①実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。 ②ベクトルやその内積の性質などを用いて、平面図形の性質を見出したり、多面的に考察できたりすることができる。 ③数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。	①事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○ベクトルとその意味 ・有向線分やベクトルの表し方を理解する。 ・ベクトルの大きさについて理解し、求める。 ・単位ベクトルについて理解し、求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○ベクトルの演算 ・平面図形と関連して、ベクトルの加法と減法を理解し、求めたり、図示する。 ・逆ベクトルと零ベクトルについて理解する。 ・ベクトルの実数倍について理解する。 ・ベクトルの平行について理解する。 ・ベクトルの分解について理解し、任意の2つのベクトルに分解できる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○ベクトルの成分 ・基本ベクトルによるベクトルの成分表示を理解する。 ・ベクトル成分表示からの大きさを求める。 ・ベクトルの相等について理解する。 ・成分表示によるベクトルの演算をする。 ・成分表示によるベクトルの平行や分解を理解し、実際に求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
4 (3)	○ベクトルの内積 ・2つのベクトルのなす角 θ と内積について理解し、求める。 ・2つのベクトルの内積と垂直・平行の条件を理解する。 ・内積の性質を用いて、なす角 θ や三角形の面積を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

ベクトルの応用

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①位置ベクトルやベクトル方程式について理解している。 ②交点の位置ベクトルや3点が一直線上にあるための条件を理解している。	実際の図形の形状と位置ベクトルやベクトル方程式を関連付けて考察することができる。	①事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○位置ベクトル ・位置ベクトルの考え方を理解する。 ・内分点・外分点の位置ベクトルを理解し、求める。 ・三角形の重心の位置ベクトルを理解し、求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (3)	○ベクトルの図形への応用 ・一直線上にある3点の条件について理解し、示したり、求めたりする。 ・内分点や外分点の考え方をを用いて、交点の位置ベクトルを求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (3)	○ベクトル方程式 ・媒介変数表示や方向ベクトルについて理解する。 ・ベクトル方程式が示す範囲を図形上に図示する。 ・法線ベクトルを理解する。 ・円のベクトル方程式を理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

空間のベクトル

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。	ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、空間図形の性質を見出したり、多面的に考察したりすることができる。	①事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○空間の座標、空間のベクトル ・空間座標において、軸や平面に関する対称を理解する。 ・2点間の距離を求める。 ・平面ベクトルと同様にベクトルの大きさや平行、分解、成分表示を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○ベクトルの内積 ・平面ベクトルと同様に空間ベクトルにおける内積やなす角を求める。 ・空間ベクトルの垂直条件を理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○位置ベクトルと空間の図形 ・平面ベクトルと同様に内分点や外分点の位置ベクトル、重心ベクトルを求める。 ・3点が一直線上にある条件や同じ平面上にある4点の条件を理解する。 ・球面の方程式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

複素数平面

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解している。 ②ド・モアブルの定理について理解している。	①複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察することができる。 ②日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。	①事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○複素数平面 ・複素数の実部と虚部に対応した平面に点をとる。 ・共役な複素数について理解する。 ・複素数の絶対値について求める。 ・複素数の和、差、実数倍について図で理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (4)	○複素数の極形式 ・動径の大きさと偏角で定める極形式の表し方について理解する。 ・極形式で表された複素数の積、商について図で理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (3)	○ド・モアブルの定理 ・複素数 z について、ド・モアブルの定理を用いて、 z^n を求める。 ・ド・モアブルの定理を用いて、 n 乗根を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
4 (4)	○複素数と図形 ・複素数で表された線分の内分点・外分点を求める。 ・複素数で表された円の方程式や垂直に等分線の式を理解する。 ・複素数で表された2本の線分のなす角を極形式を用いて求める。 ・複素数平面上にある3点の位置関係や3点を結んだ三角形の形状について調べる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

2 次曲線

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
放物線、楕円、双曲線が二次式で表されることが及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解している。	放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察することができる。	①事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○放物線 ・方程式 $f(x, y) = 0$ が表す図形について理解する。 ・放物線が焦点までの距離と準線までの距離が等しくなる点の軌跡であることを理解する。 ・放物線の標準形から焦点や準線を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (3)	○楕円 ・楕円が2つの焦点からの距離の和が一定の点の軌跡であることを理解する。 ・楕円の標準形からグラフをかき、焦点や頂点、長軸の長さ、短軸の長さを求める。 ・円と楕円の関係について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○双曲線 ・双曲線が2つの焦点からの距離の差が一定の点の軌跡であることを理解する。 ・双曲線の標準形からグラフをかき、焦点や頂点、漸近線を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
4 (3)	○2次曲線の平行移動、2次曲線と直線 ・2次曲線を平行移動した式を求める。 ・平行移動によって、2次曲線の焦点や頂点、準線、漸近線なども変化することを理解する。 ・2次曲線と直線の共有点の座標や個数を求める。 ・2次曲線の接線の方程式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

媒介変数表示と極座標

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①曲線の媒介変数表示について理解している。 ②極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについて理解している。	日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①事象を平面上の曲線について媒介変数や極座標、極方程式で考えるよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○媒介変数表示 ・媒介変数表示による曲線の表し方を理解し、パラメータを消去した式を求めることができる。 ・円や楕円の媒介変数表示を理解し、標準形の式から媒介変数で表すことができる。 ・サイクロイド曲線を視覚的に捉えて、パラメータによる座標を求めることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (4)	○極座標 ・極座標の表し方を理解し、平面上に点を取ったり、図形から極座標を求めることができる。 ・極座標と直角座標の関係を理解し、互に変換することができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (4)	○極方程式 ・極方程式から直線や円を図示することができる。 ・直線や円を極方程式で表すことができる。 ・直角座標で表された方程式を極方程式で表し、極方程式を直角座標の方程式で表すことができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
4 (2)	○いろいろな曲線 ・クロームブックでリサージュ曲線や正葉曲線などの概形を視覚的に理解する。 ・身近にある図形を式で表したり、媒介変数表示のパラメータを調整して、思い描く図形を表現したりすることができる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

平面運動と放物運動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
平面運動と放物運動について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	平面運動と放物運動について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	平面運動と放物運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 平面運動についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (7)	<ul style="list-style-type: none"> 放物運動についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

剛体のつりあい

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
剛体のつりあいについて、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	剛体のつりあいについて、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	剛体のつりあいについて主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 剛体のつりあいについての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 剛体の重心とつりあいについての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

運動量の保存

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
放物運動と剛体にはたらく力について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	放物運動と剛体にはたらく力について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	放物運動と剛体にはたらく力に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量と力積についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量保存の法則についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・反発係数についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

円運動と単振動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
円運動と単振動について、実験、観察を通して探求し、力のつりあい、運動の法則、摩擦をうける運動の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	円運動と単振動について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	円運動と単振動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・円運動についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・慣性力と遠心力についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・単振動についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
4 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・万有引力についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

気体の性質と分子運動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
気体の性質と分子運動について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	気体の性質と分子運動について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	気体の性質と分子運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・気体の法則についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・気体の分子運動についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・気体の内部エネルギーと仕事についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

波の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
波の性質について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	波の性質について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	波の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正弦波についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 波の伝わり方についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

音波

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音波について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	音波について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	音波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 音の伝わり方についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ドップラー効果についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

光波

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
光波について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	光波について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	光波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光の性質についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ レンズと鏡についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光の回折と干渉についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

電場と電位

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電場と電位について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	電場と電位について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	電場と電位に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静電気力についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電場についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電位についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンデンサーについての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

電流

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電流について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	電流について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	電流に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・電流と抵抗についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・直流回路についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

電流と磁場

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電流と磁場について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	電流と磁場について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	電流と磁場に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磁場についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電流がつくる磁場についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電流が磁場から受ける力についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
4 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ローレンツ力についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

化学と人間生活

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間生活に関わる物質や化学について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学や物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学や物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の確認。 ・ 人間生活の中の化学についての基本事項を学び、課題に取り組む。 		○		【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの記述 ・ 小テスト ・ 定期試験
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の確認。 ・ 化学とその役割についての基本事項を学び、課題に取り組む。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 振り返りシートにより化学と人間生活の学習を振り返る。 	○		○	【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの記述 ・ 小テスト ・ 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題提出の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

物質の成分と構成元素

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質の成分について、分離方法や確認方法、物質の三態などを理解している。	物質の構成元素について、固有の性質や実験方法の特異性を見いだして思考し、表現している。	物質の成分や構成元素に主体的に関わり、実験に対して見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○物質の成分 ・物質の成分についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (1)	○物質の構成元素 ・物質の構成元素についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (2)	○状態変化と熱運動 ・状態変化と熱運動についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・振り返りシートにより物質の成分と厚生元素の学習を振り返る。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

原子の構造と元素の周期表

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質を構成している粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子について、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	物質を構成する粒子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○原子の構造 ・原子の構造についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (2)	○元素の相互関係 ・元素の相互関係についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・振り返りシートにより原子の構造と元素の周期表の学習を振り返る。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

物質と化学結合

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学結合について、観察や実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の化学結合に主体的に関わり、物体や結晶に対する見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○イオン ・イオンについての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (2)	○イオン結合と組成式 ・静電気力（クーロン力）について説明し、結び付くことを理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (3)	○組成式の表し方 ・イオンの価数や組成式のつくり方を理解し、イオン結合からなる物質を組成式で表すことができる。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
4 (1)	○イオン結晶とその性質 ・結晶の性質を一つ一つ確認し、ほかの物質との違いを理解する。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
5 (3)	○共有結合の形成 ・価電子を共有することで、貴ガスの電子配置と似た、安定した形状になること理解する。 ○物質と化学結合の振り返り	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

物質と化学反応式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質と化学反応式について、物質、化学反応式の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学反応式について、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質と化学反応式の学習に対して主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○原子量・分子量と式量 ・原子の相対質量の値を利用し、分子量や式量を求める。		○	○	【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
2 (2)	○物質 ・物質の単位である「mol」を使い、個数や質量、体積を変換する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
3 (3)	○溶液の濃度 ・物質と体積を計算し、溶液の濃度を理解する。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
4 (2)	○化学変化と化学反応式 ・適切な係数を付け、化学変化を正しい化学反応式で表す。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
5 (3)	○化学反応の量的関係 ・化学反応式の係数を利用して、物質を算出する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
6 (1)	○化学変化における諸法則 ・質量保存の法則や定比例の法則などを理解する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

酸と塩基の反応

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
酸と塩基について、酸性や塩基性といった性質や、酸と塩基の定義などを理解しているとともに、実験などに関する基本操作や結果から得られる考察などの技能を身に付けている。	酸と塩基について、実験などを通して探究し、物質の変化における酸と塩基の役割や反応時の関係性を見いだして表現している。	酸・塩基と化学反応式の学習に対して主体的に関わり、関連性を見出したり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○酸と塩基 ・酸と塩基の定義を理解し、物質を分類する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
2 (4)	○水素イオン濃度 ・水素イオン濃度を計算し、溶液のpHを求めることができる。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (3)	○中和と塩 ・溶液の濃度から、酸と塩基を中和する。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
4 (2)	○中和滴定 ・中和滴定の実験を通して、溶液の中和を理解する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 ・実験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認 ・実験レポートの確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

酸化還元反応

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学反応で、酸化する物質と還元する物質の基本的な役割を理解している。	酸化と還元に関する観察、実験などを通して探究し、酸化数の増減における規則性を見出して表現している。	酸化還元反応に主体的に関わり、実生活でどのように活用されているかなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○酸化と還元 ・酸化と還元の定義を理解する。 ・酸化数の求め方を理解し、活用する。		○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・配信課題 ・定期試験
2 (4)	○酸化剤と還元剤の反応 ・酸化剤と還元剤の定義を理解し、物質を分類する。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (6)	○酸化還元の量的関係 ・酸化還元反応の量的関係を理解する。 ・酸化還元滴定の実験を通して、酸化還元反応を理解する。		○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ワークシートの記述内容の確認 【思考・判断・表現】 ・配信課題 ・小テスト ・定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

生物の特徴

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解しており、原核細胞と真核細胞の違いについても、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。	資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見いだして表現したり、細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察している。	細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察している。また、様々な生物の比較に基づき、生物は多様でありながら共通性を持っていることを見いだして理解しており、共通性は起源の共有と関連づいて理解している。

3. 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○生物の多様性 ・生物は共通の祖先が進化して多様化したことを理解する。 ○生物の共通性 ・すべての生物は細胞からできており、DNAによる細胞の複製、代謝、恒常性を保つことができる共通性を持つことを理解する。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○細胞の構造と働き ・細胞には、核をもたない原核細胞と、核をもつ真核細胞があること、真核細胞の内部には細胞小器官があることを理解する。また、その機能も理解する。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (2)	○細胞を構成する物質 生体を構成する各物質の主な役割を理解する。 ○単細胞生物と多細胞生物 単細胞生物の共通性と相違性について理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (3)	○顕微鏡による細胞の観察 試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得する。 ○生物の多様性と共通性の振り返り 振り返りシートにより学習を振り返る。	○		○	【知識・技能】 ・実験プリントの記述内容を確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

細胞とエネルギー

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 実験において、試験管や薬品を扱う技能を習得している。	呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。	資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解している。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解している。

3. 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○代謝とエネルギー ・代謝 体内での化学反応の過程全体を代謝といい、同化と異化の違いを理解する。 ・エネルギーとATP 同化と異化に伴うエネルギーの出入りにはATPが仲立ちをすることと、その仕組みを理解する。	○			【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○酵素 ・触媒と酵素 自身は変化せず、繰り返し特定の化学反応を促進する物質を触媒ということ、生体触媒を酵素ということを理解する。 触媒と酵素の性質を理解する。	○			【知識・技能】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○触媒と酵素の実験 試験管や薬品を扱う技能を習得する。 カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。	○	○		【知識・技能】 ・実験プリントの記述内容を確認 ・提出課題の確認 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (2)	○光合成と呼吸 光合成と呼吸の仕組みと関係を理解する。 呼吸と光合成からエネルギーを得る方法を関連づけて考察し、表現できる。 ○細胞とエネルギーの振り返り 振り返りシートにより学習を振り返る。		○	○	【思考・判断・表現】 ・小テスト ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

遺伝子とその働き

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	遺伝情報とDNAについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。また、DNAの特徴を見いだし、塩基の相補性とDNAの複製を関連付け、塩基配列とアミノ酸配列との関係を見い出して理解している。

3. 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○遺伝情報と形質 親の形質を受け継ぐ遺伝は、遺伝情報であるDNAによって担われていることを理解する。また、有性生殖により、同じ生物種であっても個体差が生じることを知る。 ○DNAと染色体、ゲノム 真核生物では、DNAが染色体の成分として存在することを理解し、相同染色体とは何かを理解する。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・DNAモデルの作成と考察 ・定期試験
2 (2)	○DNAが複製される仕組み ・塩基の相補性によりDNAが正確に複製されることを理解する。 ・DNAの複製は正確に行われることを理解する。 ○細胞の分裂とDNA ここまでで学習した用語を使って、DNAの構造を図で整理してみる。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○遺伝子の本体を調べた実験 各研究者の研究を通して、明らかになってきた事実を理解するとともに、研究方法と論理的な考え方を学ぶ。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (2)	○遺伝子の発現、タンパク質の合成 アミノ酸とタンパク質の流れ、DNAとRNAの違い、セントラルドグマについて理解する。個々の事象ではなく、全体の流れを掴み、細切れにならないように注意して学習する。	○		○	【知識・技能】 ・課題の記述内容 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

体内環境

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	情報の伝達について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	情報の伝達に関する事物・現象に進んでかかわり、体の調節に関する観察・実験などを行う。そして体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだし理解している。

3. 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○体内環境と体液の関係について理解する。 ○消化管や気管は体内にありながら、その内腔が外界との境界であることから体外環境として分類されることを理解する。 ○フィードバックによって、体内環境の恒常性が維持されていることを理解する。 ○情報伝達の経路には神経系・循環系・内分泌系があることを知る。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○体内環境と体液の関係について理解する。また、各体液の役割を理解する。 ○血液に関しては、血液循環そのものと心臓、血管といった循環系の構造と働きについて理解する。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○酸素の運搬とヘモグロビンの役割を学び、生体内各所の酸素濃度との関係を理解する。 ○血液凝固の仕組みを理解する。また、血清、血ぺいについて整理する。		○		【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (2)	○腎臓の構造や塩類濃度の調節のしくみを理解し、ろ過や再吸収といった働きを体系的に説明することができる。 ○腎臓を観察し、構造や働きを理解するとともに、扱う技能を習得している。 ○肝臓のしくみを肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。		○	○	【思考・判断・表現】 ・実験プリントの記述内容を確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

体内環境の維持の仕組み

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	情報の伝達について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだし理解し、また、体内環境の維持と自律神経とも関連付けて理解している。

3. 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○体内環境の調節に、神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。 ○ヒトの体液濃度の調節には腎臓が関わるが、その腎臓の働きも自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ○神経系の分類と役割を知り、交感神経系と副交感神経系の拮抗的な働きを理解する。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○内分泌腺と分泌されるホルモン、その作用について知り、ホルモンが受容されるしくみを理解する。 ○間脳の視床下部がホルモン分泌の中核として機能することを理解する。 ○ホルモンが細胞に受容され、機能するしくみについて理解を深める。 ○ホルモンの分泌量がフィードバックによって調節されていることを理解する。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○自律神経系と内分泌系の働きにより、血糖濃度の調節を一例として、体内環境が一定に保たれていることを理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (1)	○血糖濃度の調節を学んだ上で、糖尿病の発症のメカニズムと症状について理解する。 ○健康なヒトと、糖尿病患者のグラフを見比べ、そこで知識をもとに、なぜそのようなグラフが描けるのかを考えていく。	○		○	【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

免疫

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
免疫について、免疫のはたらきの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	免疫のはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解している。

3. 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解する。 ○三段階の生体防御の概要を学び、どのような段階を踏むのかを理解する。	○			【知識・技能】 ・定期試験
2 (2)	○免疫応答の概要と、免疫にかかわる細胞や器官を説明できる。	○			【知識・技能】 ・定期試験
3 (3)	○自然免疫について扱い、体内への異物の侵入を防ぐ防御機構を理解する。また、その異物に対して、非特異的に働く免疫のしくみを理解する。 ○食作用や炎症について学び、具体的な現象を確認するとともに、自らの体験と照らし合わせて理解する。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (3)	○獲得免疫について扱い、体内に侵入した異物に対して特異的に働く免疫のしくみを理解する。 ○同じ疾患に二度かかりにくい理由に気づき、その応用例を説明できる。		○	○	【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
5 (2)	○免疫が医療に応用されていることを理解する。 ○免疫が過敏に働く疾患や免疫の機能が低下する疾患の仕組みを理解する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

植生と遷移

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植生と遷移について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	植生と遷移について、観察、実験などを通して探求し、植生と環境との関係性を見いだして表現している。	植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見出して理解し、また、植生の遷移とバイオームを関連付けて理解している。

3. 単元の指導と評価の計画

(7) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○生態系とその成り立ち ・生物と環境がどのように関係しているかを理解している。また、生態系がどのように成り立っているかを説明できている。 ○植生とその変化 ・植生とはどのようなもので、どのように分類されるか説明できるようにする。 ・植生に影響を与える要因を見だし、どのように影響しているかを理解している。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○遷移のしくみ ・遷移とは何か、どのように進むかを理解している。 ・遷移の進行を、その要因を踏まえて説明できる。また、乾性遷移と湿性遷移、一次遷移と二次遷移の違いについても説明できるようにする。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○世界のバイオームとその分布 ・世界のバイオームの分布と気象条件との関係を理解できている。また、世界のバイオームの分布を植生の遷移と関連付けて説明できる。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (1)	○日本のバイオームとその分布 ・日本のバイオームの分布の特徴を理解する。 ・気温と降水量について理解し、水平分布と垂直分布の関係性を説明できる。		○	○	【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

生態系とその保全

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、生態系のバランスとその保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生態系とその保全について、観察、実験などを通して探求し、生態系における、生物の多様性および生物と環境との関係性を見いだして表現している。	生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解している。また、生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解している。 生態系のバランスと人為的かく乱を関連付けて理解し、生態系の保全の重要性を認識している。

3. 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○生物の多様性 ・生態系には多様な生物種が存在することを見出して理解している。 ・生態系によっては生物多様性の程度が異なることを理解している。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○生物どうしのつながり ・生態系内の生物どうしのつながりを理解している。 ・生物の多様性と生物どうしのつながりとを関連付けて説明できている。		○		【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○生態系のバランス ・生態系は変動しても一定の範囲内でバランスが保たれることを理解している。また、それでも大規模な攪乱によっては生態系のバランスが崩れてしまうことを説明できている。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (3)	○人間活動による環境への影響 ・生態系のバランスに及ぼす人間生活の影響を理解している。また、そのバランスを保つための人間の活動を説明できている。 ○生物多様性への影響と生態系の保全 ・生態系の保全の必要性を理解し、その重要性を認識している。 ・自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。	○		○	【知識・技能】 ・実験プリントの記述内容を確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

体づくり運動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする事、話合いに貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができる。

3 単元の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	・ 体ほぐしの運動 誰もが簡単に取り組むことができる運動、仲間と協力して楽しくできる運動、心や体が弾むような軽快な運動			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業への取り組み ・ 提出課題の確認
2 (4)	・ 実生活に生かす運動の計画 のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行う			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業への取り組み ・ 提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

サッカー

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて具体例を挙げている。 ②ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 ③見方が操作しやすいパスを送ることができる。	選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①健康・安全を確保しながら主体的に行動しようとしている。 ②球技の学習に自主的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・ルール説明 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリブルやパスなどのボール操作 ・ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレイがしやすいようにボールをキープしたりする 		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、ゴール前の空間を作りだしたりして攻防を展開する 	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と連携した動きによってゴール前に空間を作りだしてゴール前へと侵入する攻防を中心に自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、得失点の攻防を重視した練習やゲームを展開 		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

卓球

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。 ②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。	①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。 ②健康・安全を確保しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (3)	・ボール操作 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりする		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (3)	・味方や相手側のコートのねらった場所にボールをつないだり打ち返したりする	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (3)	・相手の陣形や返球によって生じる相手側コートの空いた場所をめぐる攻防を展開するといったゲーム		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

ハンドボール

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて具体例を挙げている。 ②ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 ③見方が操作しやすいパスを送ることができる。	選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①健康・安全を確保しながら主体的に行動しようとしている。 ②球技の学習に自主的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・ルール説明 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリブルやパスなどのボール操作 ・ゴールの枠内にコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレイがしやすいようにボールをキープしたりする 		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、ゴール前の空間を作りだしたりして攻防を展開する 	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と連携した動きによってゴール前に空間を作りだしてゴール前へと侵入する攻防を中心に自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、得失点の攻防を重視した練習やゲームを展開 		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

バドミントン

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。 ②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。	①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。 ②健康・安全を確保しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	・ラケット操作 ・ポジションの役割に応じたラケットの操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりする		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (3)	・味方や相手側のコートのねらった場所にシャトルをつないだり打ち返したりする	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (3)	・相手の陣形や返球によって生じる相手側コートの空いた場所をめぐる攻防を展開するといったゲーム		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

バレーボール

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることについて具体例をあげている。 ②ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。	①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。 ②健康・安全を確保しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	・ボール操作 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりする		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (3)	・味方や相手側のコートのねらった場所にボールをつないだり打ち返したりする	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (3)	・相手の陣形や返球によって生じる相手側コートの空いた場所をめぐる攻防を展開するといったゲーム		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

ソフトボール

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①体の軸を安定させてバットを振り抜くことができる。 ②タイミングを合わせてボールを捉えることができる。 ③捕球場所へ最短距離で移動して、相手の打ったボールを取ることができる。	①合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②作戦などの話合いの場面で、合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝えている。	①互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合おうとしている。 ②健康・安全を確保しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・オリエンテーション ・ルール説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (3)	・ボール操作 ・移動しながらボールを捕ること、一連の動きでねらった方向へステップを踏みながらボールを投げること、仲間からの送球を塁上でタイミングよく受けたり、仲間の送球を中継したりする		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (3)	・身体の軸が安定した一連のスイング動作で、タイミングを合わせてボールを打ち返す	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (3)	・打撃により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防を展開する		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

ダンス

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①はじめとおわりを付け、ひとまとまりの作品にまとめることができる。 ②緩急強弱のある動きや空間の使い方や場面の転換などで、変化を付けたひと流れの動きにすることができる。	①それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見つけている。 ②選択した踊りの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の動きや表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。	①ダンスの学習に主体的に取り組もうとしている。 ②一人ひとりの違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・オリエンテーション ・ダンス種類説明			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認
2 (2)	体幹部でリズムをとって全身で自由に弾んで踊ることを発展させ、体の各部位の動きをずらしたり連動させたりして踊ることや、ダイナミックなアクセントを加えたり違うリズムを取り入れたりして、変化を付けて連続して踊る		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み
3 (3)	・ロックやヒップホップなどのリズムに合った曲を、グループごとに選曲させる。一人一人の能力を生かす動きや相手と対応する動きなどを取り入れながら、仲間と関わりをもって踊る	○			【知識・技能】 ・技能テスト ・知識テスト
4 (3)	・仲間やグループ間で、簡単な作品を見せ合う発表		○	○	【思考・判断・表現】 ・提出課題の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1 単元名：

体育理論

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったことについて具体例を挙げている。	①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実各科目の目標及び内容や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を伝えている。	①スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	・豊かなスポーツライフの設計				【知識・技能】 ・知識テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 1					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	物語文や注文に関する会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	物語文や注文に関する会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 物語文や注文に関する会話を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	物語文や注文に関する会話(表現)について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	物語文や注文に関する会話(表現)について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。	パフォー マンス テスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 物語文や注文に関する会話について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識]				
	[技能]				
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。			ペーパー テスト	
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> 物語文や注文に関する会話に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 肯定文、否定文、疑問文の語法に気をつけながら表現する。 物語文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 注文に関する会話について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） 物語文や注文に関する会話について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○		○
5	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 注文に関する会話についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ポートフォリオ（振り返り）等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 2					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。 [技能] 手紙に関してや短い会話を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。	手紙に関してや短い会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	手紙に関してや短い会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
こと話す	[知識] [技能]				
（発表） 話すこと	[知識] [技能]				
こと書く	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要とな	手紙に関してや短い会話(表現)について調べ、	手紙に関してや短い会話(表現)について調べ、その	ペーパーテスト	

指導と評価の計画

	る語句や文等を理解している。 [技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	その効果などについて論理的に書いて伝える。	効果などについて論理的に書いて伝えようとしている。	振り返りの記述 活動の観察
--	---	-----------------------	---------------------------	------------------

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 5	<ul style="list-style-type: none"> 英語で書かれた手紙や英語での短い会話に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 時制の語法に気をつけながら表現する。 英語で書かれた手紙から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 英語での短い会話について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） 英語で書かれた手紙について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに書く。（言語活動） 	○		○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ポートフォリオ（振り返り）等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 3					
	内容のまとめりとごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。 [技能] 手紙に関する会話や短い会話を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。	英語での笑い話や天気予報を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	英語での笑い話や天気予報を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
こと話す	[知識] [技能]				

指導と評価の計画

(発表) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	英語での笑い話や天気予報(表現)について調べ、その効果などについて論理的に伝える。	物語文や注文に関する会話(表現)について調べ、その効果などについて論理的に伝えようとしている。	振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 英語での笑い話や天気予報について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。			
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。			ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> 英語での笑い話や天気予報に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 現在完了形の語法に気をつけながら表現する。 英語での笑い話から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 天気予報に関する会話について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) 英語での笑い話や天気予報について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○		○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ポートフォリオ(振り返り)等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 4					
内容のまとめりとごとの評価規準					主な

指導と評価の計画

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度	評価 方法
・読むこと 聞くこと	<p>[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。</p> <p>[技能] ホワイト・バイク・プロジェクトや位置関係に関する会話や短い会話を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。</p>	ホワイト・バイク・プロジェクトや位置関係を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	ホワイト・バイク・プロジェクトや位置関係を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	<p>ペーパー テスト</p> <p>振り返りの記述 活動の観察</p>
(やり取り) 話すこと	<p>[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。</p> <p>[技能] ホワイト・バイク・プロジェクトや位置関係について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。</p>	ホワイト・バイク・プロジェクトや位置関係(表現)について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	ホワイト・バイク・プロジェクトや位置関係(表現)について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。	<p>振り返りの記述 活動の観察</p>
(発表) 話すこと	<p>[知識]。</p> <p>[技能]</p>			
書くこと	<p>[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。</p> <p>[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。</p>			<p>ペーパー テスト</p> <p>振り返りの記述 活動の観察</p>

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
----	--------	---	---	---

指導と評価の計画

1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● ホワイト・バイク・プロジェクトや位置関係に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 現在完了形の語法に気をつけながら表現する。 ● ホワイト・バイク・プロジェクトに関する文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 位置関係に関する会話について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● ホワイト・バイク・プロジェクトや位置関係について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○		○
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ（振り返り）等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 5					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	自然現象に関する文やアナウンスを聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	自然現象に関する文やアナウンスを聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察	
	[技能] 自然現象に関する文やアナウンスを聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
こと 話す	[知識]				
	[技能]				
(発表) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	自然現象に関する文やアナウンス(表現)について調べ、その効果などについて論理的に伝える。	自然現象に関する文やアナウンス(表現)について調べ、その効果などについて論理的に伝えようとしている。	振り返り の記述 活動の観 察	
	[技能] 自然現象に関する文やアナウンスについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	自然現象に関する文やアナウンス(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝える。	自然現象に関する文やアナウンス(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然現象に関する文やアナウンス(表現)に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 助動詞の語法に気をつけながら表現する。 ● 自然現象に関する文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 英語でのアナウンスについて、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● 自然現象に関する文やアナウンス(表現)について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○		○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ(振り返り)等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 6					
読むこと・聞くこと	内容のまとまりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
読むこと・聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	人物に関する説明文や日常会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	人物に関する説明文や日常会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 人物に関する説明文や日常会話を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

(やり取り) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。			振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 人物に関する説明文や日常会話について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。			
(発表) 話すこと	[知識]			
	[技能]			
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	人物に関する説明文や日常会話(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝える。	人物に関する説明文や日常会話(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> 人物に関する説明文や日常会話に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 受動態の語法に気をつけながら表現する。 人物に関する説明文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 日常会話について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) 人物に関する説明文や日常会話について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○		○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ポートフォリオ(振り返り)等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
----	------	----	--------------	-----	---

指導と評価の計画

Unit 7				
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度	
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	伝書鳩に関する文や電車の乗り換えに関する会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	伝書鳩に関する文や電車の乗り換えに関する会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 伝書鳩に関する文や電車の乗り換えに関する会話を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。			
こと話す	[知識]			
	[技能]			
(発表) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	伝書鳩に関する文や電車の乗り換えに関する会話(表現)について調べ、その効果などについて論理的に伝える。	伝書鳩に関する文や電車の乗り換えに関する会話(表現)について調べ、その効果などについて論理的に伝えようとしている。	振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 伝書鳩に関する文や電車の乗り換えに関する会話について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。			
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	伝書鳩に関する文や電車の乗り換えに関する会話(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝える。		ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
----	--------	---	---	---

指導と評価の計画

1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝書鳩に関する文や電車の乗り換えに関する会話に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 不定詞の語法に気をつけながら表現する。 ● 伝書鳩に関する文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 電車の乗り換えに関する会話について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● 伝書鳩に関する文や電車の乗り換えに関する会話について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○		○
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ（振り返り）等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 8					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。</p> <p>[技能] 映画の鑑賞に関する文や道案内の会話を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。</p>	映画の鑑賞に関する文や道案内の会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	映画の鑑賞に関する文や道案内の会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察	
(やり取り) 話すこと	<p>[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。</p> <p>[技能] 映画の鑑賞に関する文や道案内の会話について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。</p>			振り返り の記述 活動の観 察	

指導と評価の計画

(発表) 話すこと	[知識]			
	[技能]			
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	映画の鑑賞に関する文や道案内の会話(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝える。	映画の鑑賞に関する文や道案内の会話(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝えようとしている。	パフォーマンステスト ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 映画の鑑賞に関する文や道案内の会話に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 不定詞の語法に気をつけながら表現する。 ● 映画の鑑賞に関する文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 道案内の会話について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● 映画の鑑賞に関する文や道案内の会話について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○		○
4	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【書くこと】 映画の鑑賞についての情報や自分の考え、気持ちなどを書いて表現する。 		○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ(振り返り)等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 9					
内容のまとめりとごとの評価規準					主な

指導と評価の計画

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度	評価 方法
・読むこと 聞くこと	<p>[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。</p> <p>[技能] 健康に関する文や短い会話を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。</p>	健康に関する文や短い会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	健康に関する文や短い会話を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	<p>ペーパー テスト</p> <p>振り返り の記述 活動の観 察</p>
(やり取り) 話すこと	<p>[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。</p> <p>[技能] 健康に関する文や短い会話について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。</p>	健康に関する文や短い会話(表現)について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	健康に関する文や短い会話(表現)について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。	振り返り の記述 活動の観 察
(発表) 話すこと	<p>[知識]</p> <p>[技能]</p>			
書くこと	<p>[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。</p> <p>[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。</p>	健康に関する文や短い会話(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝える。		<p>ペーパー テスト</p> <p>振り返り の記述 活動の観 察</p>

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
----	--------	---	---	---

指導と評価の計画

1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関する文や短い会話に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 動名詞の語法に気をつけながら表現する。 健康に関する文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 短い会話について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） 健康に関する文や短い会話について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○		○
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ポートフォリオ（振り返り）等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 10					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。</p> <p>[技能] スポーツとしての吹き矢に関する文や色・大きさ・形態を説明する音声を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。</p>	スポーツとしての吹き矢に関する文や色・大きさ・形態を説明する音声を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	スポーツとしての吹き矢に関する文や色・大きさ・形態を説明する音声を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察	
(やり取り) 話すこと	<p>[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。</p> <p>[技能] スポーツとしての吹き矢に関する文や色・大きさ・形態を説明する音声について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話し</p>	スポーツとしての吹き矢に関する文や色・大きさ・形態を説明する音声(表現)について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	スポーツとしての吹き矢に関する文や色・大きさ・形態を説明する音声(表現)について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。	振り返り の記述 活動の観 察	

指導と評価の計画

	て伝え合う技能を身に付けている。			
(発表) 話すこと	[知識]			
	[技能]			
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。			ペーパー テスト
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。			振り返り の記述 活動の観 察

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツとしての吹き矢に関する文や色・大きさ・形態を説明する音声に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 分詞の語法に気をつけながら表現する。 ● スポーツとしての吹き矢に関する文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 色・大きさ・形態を説明する音声について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● スポーツとしての吹き矢に関する文や色・大きさ・形態を説明する音声について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○		○
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ(振り返り)等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 11					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
こ と 聞 く	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必	紀行文やグラフを説明する音声を聞いたり、読	紀行文やグラフを説明する音声を聞いたり、読んだ	ペーパー テスト	

指導と評価の計画

	要となる語彙や表現を理解している。 [技能] 紀行文やグラフを説明する音声を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。	んだりして概要や要点を捉えている。	りして概要や要点を捉えようとしている。	振り返りの記述活動の観察
(やり取り) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。 [技能] 紀行文やグラフを説明する音声について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。			振り返りの記述活動の観察
(発表) 話すこと	[知識] [技能]			
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。 [技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	紀行文やグラフを説明する音声(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝える。		ペーパーテスト 振り返りの記述活動の観察

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 紀行文やグラフを説明する音声に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 比較の語法に気をつけながら表現する。 ● 紀行文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● グラフを説明する音声について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● 紀行文やグラフを説明する音声について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○		○

指導と評価の計画

後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ（振り返り）等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○
----	--	---	---	---

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 12					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。</p> <p>[技能] エッセイや時間の計算に関する音声を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。</p>	エッセイや時間の計算に関する音声を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	エッセイや時間の計算に関する音声を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
(やり取り) 話すこと	<p>[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。</p> <p>[技能] エッセイや時間の計算に関する音声について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。</p>			振り返りの記述 活動の観察	
(発表) 話すこと	<p>[知識]</p> <p>[技能]</p>				
書くこと	<p>[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。</p> <p>[技能] 情報を論理性に注意</p>	エッセイや時間の計算に関する音声(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝える。	エッセイや時間の計算に関する音声(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述	

指導と評価の計画

	して書いて伝える技能を身に付けている。			活動の観察
--	---------------------	--	--	-------

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● エッセイや時間の計算に関する音声に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 関係代名詞の語法に気をつけながら表現する。 ● エッセイから必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 計算に関する音声について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● エッセイや時間の計算に関する音声について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○		○
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ（振り返り）等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 13					
	内容のまとまりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	物語やニュースを聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	物語やニュースを聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 物語やニュースを聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	物語やニュース（表現）について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。		振り返りの記述 活動の観察	
	[技能] 物語やニュースに				

指導と評価の計画

	について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。			
(発表) 話すこと	[知識]			
	[技能]			
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	物語やニュース(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝える。		ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 物語やニュース(表現)に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 英文の構造に気をつけながら表現する。 ● 物語文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● ニュース(表現)について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● 物語やニュース(表現)について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○		○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ(振り返り)等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 14					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
こと 聞く	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必	寓話や留守番電話の音声 を聞いたり、読んだり	寓話や留守番電話の音声 を聞いたり、読んだりして	ペーパー テスト	

指導と評価の計画

	要となる語彙や表現を理解している。 [技能] 寓話や留守番電話の音声を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。	して概要や要点を捉えている。	概要や要点を捉えようとしている。	振り返りの記述活動の観察
(やり取り) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。 [技能] 寓話や留守番電話の音声について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。			振り返りの記述活動の観察
(発表) 話すこと	[知識] [技能]			
書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。 [技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	寓話や留守番電話の音声について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝える。	寓話や留守番電話の音声について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述活動の観察

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 寓話や留守番電話の音声に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 疑問文・間接疑問文の語法に気をつけながら表現する。 ● 寓話から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 留守番電話の音声について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● 寓話や留守番電話の音声について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○		○

指導と評価の計画

後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ（振り返り）等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○
----	--	---	---	---

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Unit 15					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。	環境に関する文やニュースを聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	環境に関する文やニュースを聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述活動の観察	
	[技能] 環境に関する文やニュースを聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。			振り返りの記述活動の観察	
	[技能] 環境に関する文やニュースについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	環境に関する文やニュース(表現)について調べ、その効果などについて論理的に伝える。	環境に関する文やニュース(表現)について調べ、その効果などについて論理的に伝えようとしている。	パフォーマンステスト	
	[技能] 環境に関する文やニュースについて、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

書くこと	[知識] 情報を論理性に注意して伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	環境に関する文やニュース(表現)について調べ、その効果などについて論理的に書いて伝える。		ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に関する文やニュース(表現)に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 文の形に気をつけながら表現する。 ● 環境に関する文から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● ニュース(表現)について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● 環境に関する文やニュース(表現)について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○		○
3	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[発表]】 環境に関する文やニュース(表現)についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ(振り返り)等の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かす評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
Lesson 1 Library of the Future					
	内容のまとまりごとの評価規準			主な	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度	評価 方法	
・読むこと 聞くこと	〔知識〕 分詞構文、関係副詞の where を用いた文の形・意味・用法を理解している。	現代の図書館の特徴について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自身が考える理想の図書館について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	〔技能〕 現代の図書館の特徴について、分詞構文、関係副詞の where などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、現代の図書館について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	〔知識〕 分詞構文、関係副詞の where を用いた文の形・意味・用法を理解している。	現代の図書館の特徴について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自身が考える理想の図書館について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを話して伝え合うやり取りを続けようとしている。	パフォーマンステスト ワークシートの記述 活動の観察	
	〔技能〕 現代の図書館の特徴について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞＋動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本の観光について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

<p>(発表)</p> <p>話すこと</p>	<p>〔知識〕分詞構文、関係副詞の where を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕現代の図書館の特徴について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞＋動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本の観光について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>現代の図書館の特徴について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自身が考える理想の図書館について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。</p>	<p>パフォーマンステスト</p>
<p>書くこと</p>	<p>〔知識〕分詞構文、関係副詞の where を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕現代の図書館の特徴について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞＋動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本の観光について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>現代の図書館の特徴について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自身が考える理想の図書館について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>振り返りの記述活動の観察</p>

指導と評価の計画

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 1 5	<ul style="list-style-type: none"> 単元の話題に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 現代の図書館の特徴について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解したり、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	
1 6	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 現代の図書館の特徴についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	4
Lesson 2 History Maker Otani Shohei					
	内容のまとめりと評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>〔知識〕 現在完了進行形、be+to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕 大谷選手の生涯や目標について、受け身、現在完了形、現在完了進行形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	大谷選手の生涯や目標について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して聞いたり読んだりして伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ペーパーテスト 振り返りの記述活動の観察	

指導と評価の計画

(やり取り)	話すこと	〔知識〕現在完了進行形、be+to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	大谷選手の生涯や目標について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	パフォーマンス ワークシートの記述 活動の観察
		〔技能〕大谷選手の生涯や目標について、受け身、現在完了形、現在完了進行形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。			
(発表)	話すこと	〔知識〕現在完了進行形、be+to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	大谷選手の生涯や目標について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、大谷選手について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	パフォーマンス
		〔技能〕大谷選手の生涯や目標について、受け身、現在完了形、現在完了進行形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。			
	書くこと	〔知識〕現在完了進行形、be+to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	大谷選手の生涯や目標について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、大谷選手について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察
		〔技能〕大谷選手の生涯や目標について、受け身、現在完了形、現在完了進行形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、大谷選手の生涯や目標について書かれた			

指導と評価の計画

	文章の内容を読み取る技能 を身に付けている。			
--	---------------------------	--	--	--

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 3 1 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 単元の話題に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 大谷選手の生涯や目標について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） ● 大谷選手の生涯や目標について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	
1 4	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 大谷選手の生涯や目標の情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals					
	内容のまとまりごとの評価規準			主な	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度	評価 方法	
・読むこと 聞くこと	〔知識〕比較表現, S+V 〔使役〕+O+C〔原形不定詞〕の形・意味・用法を理解している。	動物の歯科医の仕事について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
	〔技能〕動物の歯科医の仕事について, 比較表現, S+V 〔使役〕+O+C〔原形不定詞〕などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, 現代の図書館について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。				
(やり取り) 話すこと	〔知識〕比較表現, S+V 〔使役〕+O+C〔原形不定詞〕を用いた文の形・意味・用法を理解している。	動物の歯科医の仕事について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いてコミュニケーションを話して伝え合うやり取りを続けようとしている。	パフォーマンステスト ワークシートの記述 活動の観察	
	〔技能〕動物の歯科医の仕事について, 比較表現, S+V 〔使役〕+O+C〔原形不定詞〕などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, 動物の歯科医の仕事について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

<p>(発表)</p> <p>話すこと</p>	<p>〔知識〕比較表現, S+V 〔使役〕+O+C〔原形不定詞〕を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕動物の歯科医の仕事について, 比較表現, S+V〔使役〕+O+C〔原形不定詞〕などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, 日本の観光について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>動物の歯科医の仕事について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。</p>	<p>パフォーマンステスト</p>
<p>書くこと</p>	<p>〔知識〕比較表現, S+V 〔使役〕+O+C〔原形不定詞〕を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕動物の歯科医の仕事について, 動詞の現在形・過去形, 進行形, 助動詞+動詞の原形などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, 動物の歯科医の仕事について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>動物の歯科医の仕事について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>振り返りの記述</p> <p>活動の観察</p>

指導と評価の計画

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 1 3	<ul style="list-style-type: none"> 単元の話題に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 動物の歯科医の仕事について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解したり、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	
1 4	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 興味のある職業についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
Lesson 4 Nature Photographer in Alaska					
	内容のまとまりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	〔知識〕関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。	写真家の松本紀生さんの半生や作品について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたこと	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ペーパーテスト 振り返りの記述	
	〔技能〕写真家の松本紀生さんの半生や作品について	を活用しながら、光る生き物について、情報や自分の			

指導と評価の計画

	て、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。	考えなどを論理性に注意して聞いたり読んだりして伝えている。		活動の観察
やり取り 話すこと	<p>【知識】関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】写真家の松本紀生さんの半生や作品について、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、写真家の松本紀生さんの半生や作品について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	写真家の松本紀生さんの半生や作品について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、写真家の松本紀生さんの半生や作品について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	パフォーマンステスト ワークシートの記述 活動の観察
発表 話すこと	【知識】関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。	写真家の松本紀生さんの半生や作品について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりした	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケー	パフォーマンステスト

指導と評価の計画

	<p>〔技能〕写真家の松本紀生さんの半生や作品について、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、光る生き物について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>ことを活用しながら、写真家の松本紀生さんの半生や作品について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>ションを図ろうとする態度を養う。</p>	
書くこと	<p>〔知識〕関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕写真家の松本紀生さんの半生や作品について、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、写真家の松本紀生さんの半生や作品について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>写真家の松本紀生さんの半生や作品について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、写真家の松本紀生さんの半生や作品について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>振り返りの記述活動の観察</p>

時間	主な学習活動	知	思	主
1 5	<ul style="list-style-type: none"> 単元の話題に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 写真家の松本紀生さんの半生や作品について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） 写真家の松本紀生さんの半生や作品について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	
1 6	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 写真家の松本紀生さんの半生や作品の情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think					
	内容のまとめりとごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>〔知識〕S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕動物の歯科医の仕事について, S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的</p>	イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして	英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	

指導と評価の計画

	に応じて捉えたり、イグ・ノーベル賞を受賞した研究について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。	伝えている。		
(やり取り) 話すこと	<p>〔知識〕S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, イグ・ノーベル賞を受賞した研究の仕事について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いてコミュニケーションを話して伝え合うやり取りを続けようとしている。	パフォーマンステスト ワークシートの記述活動の観察
(発表) 話すこと	<p>〔知識〕S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, イグ・ノーベル賞を受賞した研究について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	パフォーマンステスト
書くこと	<p>〔知識〕S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, S+V</p>	イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味	英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理	ペーパーテスト 振り返りの記

指導と評価の計画

	+O+C, 過去完了進行形, 受け身などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, イグ・ノーベル賞を受賞した研究について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。	のある職業について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。	由や根拠とともに書いて伝えようとしている。	述 活 動 の 観 察
--	--	---	-----------------------	-------------------

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 5	<ul style="list-style-type: none"> 単元的话题に対する興味・関心を喚起するとともに, 単元の目標を確認する。 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり, 特定の部分の要点を捉えたりする。 イグ・ノーベル賞を受賞した研究について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解したり, 気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○	○	
1 6	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 興味のある職業についての情報や自分の考え, 気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
Lesson 6 Where Does Halloween Come from?					
	内容のまとまりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	〔知識〕「追加」を表すディスコースマーカーを理解している。	日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 光る生き物について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して聞いたり読んだりして伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ペーパー テスト 振り返り の記述 活動の観 察	
	〔技能〕日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について, 「追加」を表すディスコースマーカーの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, 日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。				

指導と評価の計画

<p>(やり取り) 話すこと</p>	<p>〔知識〕「追加」を表すディスコースマーカーを理解している。</p> <p>〔技能〕日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、写真家の松本紀生さんの半生や作品について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>パフォーマンス ワークシートの記述 活動の観察</p>
<p>(発表) 話すこと</p>	<p>〔知識〕「追加」を表すディスコースマーカーを理解している。</p> <p>〔技能〕日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、「追加」を表すディスコースマーカーなどの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>パフォーマンス</p>
<p>書くこと</p>	<p>〔知識〕「追加」を表すディスコースマーカーを用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、「追加」を表すディスコースマーカーなどの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して</p>	<p>日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う</p>	<p>ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察</p>

指導と評価の計画

	様子やハロウィーンの起源と歴史について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。	情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。		
--	--	-----------------------------	--	--

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 5	<ul style="list-style-type: none"> 単元の問題に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） 日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	
1 6	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史の情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World?					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>【知識】客観的な事実と筆者の意見の区別を理解している。</p> <p>【技能】3D プリント技術の使用例や今後の課題について、客観的な事実と筆者の意見の区別を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、3D プリント技術の使用例や今後の課題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	3D プリント技術の使用例や今後の課題について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、3D プリント技術の使用例や今後の課題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して聞いたり読んだりして伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察	
取り（やり）と話すこと	【知識】客観的な事実と筆者の意見の区別を理解している	3D プリント技術の使用例や今後の課題について、必要な情報	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み	パフォーマンス	

指導と評価の計画

	<p>る。</p> <p>〔技能〕3D プリント技術の使用例や今後の課題について、客観的な事実と筆者の意見の区別の理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、3D プリント技術の使用例や今後の課題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、3D プリント技術の使用例や今後の課題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>スト</p> <p>ワークシートの記述</p> <p>活動の観察</p>
<p>話すこと (発表)</p>	<p>〔知識〕客観的な事実と筆者の意見の区別を理解している。</p> <p>〔技能〕3D プリント技術の使用例や今後の課題について、客観的な事実と筆者の意見の区別などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、3D プリント技術の使用例や今後の課題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>3D プリント技術の使用例や今後の課題について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、3D プリント技術の使用例や今後の課題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>パフォーマンス</p>
<p>書くこと</p>	<p>〔知識〕「客観的な事実と筆者の意見の区別を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>〔技能〕3D プリント技術の使用例や今後の課題について、客観的な事実と筆者の意見の区別などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、3D プリント技術の使用例や今後の課題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>3D プリント技術の使用例や今後の課題について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、3D プリント技術の使用例や今後の課題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>振り返りの記述</p> <p>活動の観察</p>

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
----	--------	---	---	---

指導と評価の計画

1 1 3	<ul style="list-style-type: none"> 単元的话题に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 3Dプリント技術の使用例や今後の課題について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。（言語活動） 3Dプリント技術の使用例や今後の課題について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	
1 4	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 3Dプリント技術の使用例や今後の課題の情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
Lesson 9 English, Always Growing					
	内容のまとめりととの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	[知識]「列挙」を表すディスコースマーカーの意味や働きを理解している。	英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、興味のある職業について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	ペーパーテスト	
	[技能] 英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて、S+V+O+C、過去完了進行形、受け身などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。			振り返りの記述活動の観察	
(やり取り) 話すこと	[知識]「列挙」を表すディスコースマーカーを用いた文の形・意味・用法を理解している。	英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりした	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュ	パフォーマンステスト	
	[技能] 英語の語彙の歴史と				

指導と評価の計画

	新語の形成の仕組みについて、「列挙」を表すディスコースマーカの意味や働きの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。	ことを活用しながら、興味のある職業について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。	ニケーションを話して伝え合うやり取りを続けようとしている。	ワーク シート の記述 活動の 観察
(発表) 話すこと	〔知識〕「列挙」を表すディスコースマーカの意味や働きの理解している。	英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、興味のある職業について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。	パフォー マンス テスト
	〔技能〕英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて、「列挙」を表すディスコースマーカの意味や働きの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。			
書くこと	〔知識〕「列挙」を表すディスコースマーカの意味や働きの理解している。	英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、興味のある職業について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えようとしている。	ペーパー テスト 振り返 りの記 述 活動の 観察
	〔技能〕英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて、「列挙」を表すディスコースマーカの意味や働きの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。			

記録に残す評価 (○)

指導と評価の計画

時間	主な学習活動	知	思	主
1 5 1 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 単元の問題に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 教科書や関連する問題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解したり、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。（言語活動） 	○	○	
1 4	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 興味のある職業についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
Lesson 1 “I Love My Country!”					
	内容のまとまりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと					
(やり取り) 話すこと	[知識] これまでの経験について伝えるために必要となる語句や文、音声等を理解している。	これまでの経験について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合うことができる。	お互いによく理解できるように、これまでの経験について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合おうとしている。	活動の観察	
	[技能] これまでの経験について現在完了形、過去完了形を使って、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] ある場所について情報や自分の考えを伝えるために必要となる語句や文、音声等を理解している。	昨年の思い出と今年の計画について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、詳しく伝え合うことができる。	昨年の思い出と今年の計画について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、詳しく伝えようとしている。	パフォーマンステスト	
	[技能] 自分の好きな場所について、未来を表す表現や各地の有名なものを表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを詳しく書く技能を身に付けている。				
書くこと	[知識] これまでの経験について伝えるために伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	自分の好きな場所について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、詳しく書くことができる。	これまでの経験や自分の好きな場所などについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを進んで書こうとす	ペーパーテスト 活動の観察	

指導と評価の計画

	[技能]自分の好きな場所について伝える技能を身に付けている。		る。	
--	--------------------------------	--	----	--

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 { 1 0	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでの経験について会話を聞いて理解する。 ● 現在完了、過去完了を使って表現する。 ● 好きな場所を紹介する発表の原稿を書く。 ● 紹介する場所についての情報などを加えて説明する。 ● 未来を表す表現を使った会話を聞いて理解し、実際にやりとりをする。 ● 小テストに取り組む。 	○		○
1 1	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト ● 日頃の取り組みに関する課題を提出する。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
Lesson 2 “The New Wave of Sports”					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと					
(やり取り) 話すこと	<p>【知識】</p> <p>予定について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。</p>	<p>お互いによく理解できるように、週末の予定について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合っている。</p>	<p>お互いによく理解できるように、週末の予定について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合おうとしている。</p>	活動の観察	
	<p>【技能】 週末の予定について、助動詞を用いた表現やいろいろな予定を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う技能を身に付けている。</p>				
(発表) 話すこと	<p>【知識】 最新のものについて情報を伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。</p>	<p>聞き手によく理解してもらえるように、最新のものについて、情報を整理し、多様な語句や文を用いて詳しく話して紹介している。</p>	<p>聞き手によく理解してもらえるように、最新のものについて、情報を整理し、多様な語句や文を用いて詳しく話して紹介しようとしている。</p>	パフォーマンステスト	
	<p>【技能】最新のものについて、情報を整理し、多様な語句や文を用いて詳しく話して紹介する技能を身に付けている。</p>				
書くこと	<p>【知識】 最新のものについて情報を伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。</p>	<p>聞き手によく理解してもらえるように、最新のものについて、情報を整理し、多様な語句や文を用いて</p>	<p>これまでの経験や自分の好きな場所などについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ち</p>	ペーパーテスト	活動の観

指導と評価の計画

	〔技能〕 最新のものについて、情報を整理し、多様な語句や文を用いて詳しく話して紹介する技能を身に付けている。	詳しく書くことができる。	などを進んで書こうとする。	察
--	---	--------------	---------------	---

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 { 1 0	<ul style="list-style-type: none"> ● 予定や最新のものなどについての会話を聞いて理解する。 ● 週末の予定について会話をする。 ● 助動詞表現（used to, should）を使って表現する。 ● 最新のものを紹介する発表を聞いて関連する表現を理解する。 ● 紹介するものについての情報などを加えて説明する。 ● 「助動詞＋have＋過去分詞」、「be 動詞＋to 不定詞」を使って表現する。 	○		○
1 1	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト ● 日頃の取り組みに関する課題を提出する。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
Lesson 5 “Will Our Lives Change with AI?”					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと					
（やり取り） 話すこと	〔知識〕 AI 技術について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理	お互いによく理解できるように、印象深かった授業について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由とと	お互いによく理解できるように、印象深かった授業について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由とと	活動の観察	

指導と評価の計画

	<p>解している。</p> <p>〔技能〕 印象深かった授業について、動名詞や、授業で行われている内容を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>もに即興で詳しく伝え合っている。</p>	<p>もに即興で詳しく伝え合おうとしている。</p>	
<p>話すこと (発表)</p>	<p>〔知識〕 科学技術について、情報や自分の考え、気持ちを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。</p> <p>〔技能〕 科学技術について、動名詞や科学技術でできることを表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身に付けている。</p>		<p>読み手によく理解してもらえるように、贈り物について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して発表しようとしている。</p>	<p>パフォーマンステスト</p>
<p>書くこと</p>	<p>〔知識〕 最新の AI 技術について情報を伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。</p> <p>〔技能〕 最新の AI 技術について、情報を整理し、多様な語句や文を用いて詳しく話して紹介する技能を身に付けている。</p>	<p>読み手によく理解してもらえるように、贈り物について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書いている。</p>	<p>読み手によく理解してもらえるように、贈り物について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書こうとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>活動の観察</p>

指導と評価の計画

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 11	<ul style="list-style-type: none"> ● 印象深かった授業について会話をする。 ● 最新のAI技術などについての会話を聞いて理解する。 ● 動名詞を使って表現する。 ● 最新の AI 技術について説明する文章を書く。 	○		○
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト ● 日頃の取り組みに関する課題を提出する。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
Lesson 6 “Experience Madagascar’ s Wildlife”					
	内容のまとめりととの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと					
(やり取り) 話すこと	[知識] 世界や日本で有名な場所について紹介するために必要となる表現の意味や働きを理解している。	お互いによく理解できるように、日本の文化について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合っている。	お互いによく理解できるように、日本の文化について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合おうとしている。	活動の観察	
	[技能] 世界や日本で有名な場所について、比較表現や世界や日本で有名な場所を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で				

指導と評価の計画

	詳しく伝え合う技能を身に付けている。			
(発表) 話すこと	[知識] 世界や日本で有名な場所について紹介するために必要となる表現の意味や働きを理解している。	聞き手によく理解してもらえるように、日本の文化について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく発表している。	聞き手によく理解してもらえるように、日本の文化について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく発表しようとしている。	パフォーマンステスト
	[技能] 世界や日本で有名な場所について、比較表現や日本文化を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、詳しく発表する技能を身に付けている。			
書くこと	[知識] 世界や日本で有名な場所を表す表現を理解している。	読み手によく理解してもらえるように世界や日本で有名な場所について、比較表現や日本文化を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書いている。	読み手によく理解してもらえるように世界や日本で有名な場所について、比較表現や世界や日本で有名な場所を表す表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して詳しく書こうとしている。	ペーパーテスト 活動の観察
	[技能] 世界や日本で有名な場所について、比較表現や日本文化を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを書ける。			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1～11	<ul style="list-style-type: none"> 世界や日本で有名な場所について会話をする。 世界や日本で有名な場所を紹介する発表をする。 比較表現を使って表現する。 紹介する日本の文化についての情報などを加えて説明する。 	○		○
12	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト 日頃の取り組みに関する課題を提出する。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
Lesson 9 “Send Our Love to the World”					
	内容のまとまりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと ・聞くこと					
(やり取り) 話すこと	[知識] 社会問題について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合うことができる。	社会問題について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。	お互いによく理解できるように、社会問題について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由とともに即興で詳しく伝え合おうとしている。	活動の観察	
	[技能] 身近な社会問題について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、相手の意見に応じて、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができる。				
(発表) 話すこと	[知識] 社会問題について情報や自分の考えを伝えるのに必要となる表現の意味や働きを理解している。	聞き手によく理解してもらえるように、社会問題について、情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫しながら、多様な語句や文を用いて詳しく説明している。	聞き手によく理解してもらえるように、社会問題について、情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫しながら、多様な語句や文を用いて詳しく説明しようとしている。	パフォーマンス課題	
	[技能] 情報や自分の考えを整理しながら詳しく伝える技能を身に付けている。				
書くこと	[知識] 否定の表現の特徴やきまりに関する事項を確認し、それを用いて身近な人やものご	読み手によく理解してもらえるように、贈り物について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の	読み手によく理解してもらえるように、贈り物について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の	ペーパーテスト	

指導と評価の計画

	と について複数の文を 言ったり書いたりする。 [技能] 社会問題について、 代名詞を使った表現や世界の格差を表す 表現などを用いて、 情報や自分の考えを整理 し、論理の構成や 展開 を工夫して詳しく書く 技能を身に付け ている。	考え、気持ちを整理し、 論理の構成や展開を工夫 して詳しく書いている。	考え、気持ちを整理し、 論理の構成や展開を工夫 して詳しく書こうとして いる。	活 動 の 観 察
--	--	---	--	--------------

記録に残す評価 (○)

時 間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 6	過去の思い出や贈り物などについての会話を聞いて理解する。 ● 社会的な問題について会話をする。 ● 代名詞、否定表現を使って表現する。	○		○
7	● ペーパーテスト ● 日頃の取り組みに関する課題を提出する。	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
Lesson 10 “Experience Madagascar’ s Wildlife”					
	内容のまとまりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと					
(やり取り) 話すこと	[知識] ものの数や大きさなどについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。	お互いによく理解できるように、ものの数や大きさなどについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合っている。	お互いによく理解できるようにもの数や大きさなどについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合おうとしている。	活動の 観察	
	[技能] ものの数や大きさなどについて、比較（比較級、最上級、同等比較）や身近なものを表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う技能を身に付けている。				
(発表) 話すこと	[知識] 世界や日本で有名な場所について、情報や自分の考えを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。	聞き手によく理解してもらえるように、世界や日本で有名な場所について、情報や自分の考えを整理し、例を挙げるなど論理の構成や展開を工夫	聞き手によく理解してもらえるように、世界や日本で有名な場所について、情報や自分の考えを整理し、例を挙げるなど論理の構成や展開を工夫	パフォー マン ステ スト	

指導と評価の計画

	[技能] 世界や日本で有名な場所について、比較（倍数表現、比較の強調など）や〈the＋序数＋最上級〉などを用いて、情報や自分の考えを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝える技能を身に付けている。	しながら、多様な語句や文を用いて詳しく伝えている。	しながら、多様な語句や文を用いて詳しく伝えようとしている。	
書くこと	[知識] [技能]			ペーパーテスト 活動の観察

記録に残す評価（○）

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> ● 大きさなどを身近なものに例える。 ● 比較（比較級、最上級、同等）を使って表現する。 ● 世界や日本で有名な場所を紹介する発表をする。 ● 比較（倍数、強調）を使って表現する。。 	○		○
7	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト ● 日頃の取り組みに関する課題を提出する。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

家庭総合

1 単元名：

人の一生と食事

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食事・食生活についての知識・課題について理解し、解決する力を身に付けている。	食事・食生活の課題について解決策を考え、表現することを身に付けている。	食事・食生活の課題について、様々な人と協力して家庭や地域での生活の向上を図るために実践しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	・単元の目標を確認し、単元を貫く課題に対する学習前の考えを記入する。 【私たちと食事】 ・食事の役割を理解し、食事を摂ったり、用意したりすることについて考える。		○	○	【思考・判断・表現】 学習プリントへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
2 (2)	【健康に配慮した食生活】 ・現代の食生活の現状を知り、健康で安全な食生活を営むことについて理解する。	○			【知識・技能】 学習プリントへの記述
3 (4)	【食生活の変化】 ・食材や調理法、食事の取り方について理解し、自分の食生活のことについて考える。 ・調理実習を通して、調理の理論、技術を理解する。		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートへの記述、振り返りシートへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
4 (2)	【持続可能な食生活】 ・日本の食糧事情を理解するとともに、無駄のない食材の利用について考える。	○	○		【知識・技能】 学習プリントへの記述 【思考・判断・表現】 ワークシートへの記述、振り返りシートへの記述
5 (2)	【食生活の文化】 ・日本の食文化への理解を深めるとともに、これからの食生活・食文化について考える。		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートへの記述、振り返りシートへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

家庭総合

1 単元名：

食生活をデザインする

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食事・食生活についての知識・課題について理解し、解決する力を身に付けている。	食事・食生活の課題について解決策を考え、表現することを身に付けている。	食事・食生活の課題について、様々な人と協力して家庭や地域での生活の向上を図るために実践しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【人体と栄養】 ・人体の構成・健康と栄養関係を理解し、食事を摂ったり、用意したりすることについて考える。		○	○	【思考・判断・表現】 学習プリントへの記述、振り返りシートへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
2 (4)	【5大栄養素】 ・現代の食生活の現状を知り、健康で安全な食生活を営むことについて理解する。	○		○	【知識・技能】 学習プリントへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
3 (2)	【食品の選択と保存】 ・食材や調理法や保存について理解し、自分の食生活のことについて考える。 ・調理実習を通して、調理の理論、技術を理解する。		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートへの記述、振り返りシートへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
4 (4)	【栄養バランスのよい食事】 ・各食品に含まれる栄養素を考慮し、バランスの取れた食事の構成を考える。	○	○		【知識・技能】 学習プリントへの記述 【思考・判断・表現】 ワークシートへの記述、振り返りシートへの記述
5 (2)	【食品群と摂取量のめやす】 ・食品群についての理解と、年代別・身体活動レベル別の摂取量のめやすについて考える。		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートへの記述、振り返りシートへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

家庭総合

1 単元名：

次世代をはぐくむ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
乳幼児についての知識・課題について理解し、解決する力を身に付けている。	乳幼児の課題について解決策を考え、表現することを身に付けている。	乳幼児の課題について、様々な人と協力して家庭や地域での生活の向上を図るために実践しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(16) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (5)	【子どもの発達】 ・命のはじまり、命への責任など大人の立場で理解し子どもを育てることについて考える。		○	○	【思考・判断・表現】 学習プリントへの記述、振り返りシートへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
2 (6)	【乳幼児の体の発達】 ・乳幼児の体の発達についての基本を知り、子どもの心身ともに健康な発育について理解する。	○		○	【知識・技能】 学習プリントへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
3 (5)	【乳幼児の心の発達】 ・乳幼児の心の発達についての基本を知り、子どもの心身ともに健康な発育について理解する。	○		○	【知識・技能】 学習プリントへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
4					
5					

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

家庭総合

1 単元名：

子育て支援

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
多様化する保育のニーズについての知識・課題について理解し、解決する力を身に付けている。	多様化する保育のニーズの課題について解決策を考え、表現することを身に付けている。	多様化する保育のニーズの課題について、様々な人と協力して家庭や地域での生活の向上を図るために実践しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【多様化する保育のニーズ】 ・社会全体で子どもを育てていく社会づくりや意識の向上について理解し、改善していくことについて考える。	○	○		【思考・判断・表現】 学習プリントへの記述、振り返りシートへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
2 (3)	【未来を担う子どもの権利】 ・児童の権利について理解するとともに、児童虐待などの社会問題となっている事象について知り、安全に安心して子どもを育てることができる社会の実現について理解する。	○		○	【知識・技能】 学習プリントへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

家庭総合

1 単元名：

充実した生涯へ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
高齢者についての知識・課題について理解し、解決する力を身に付けている。	高齢者の課題について解決策を考え、表現することを身に付けている。	高齢者の課題について、様々な人と協力して家庭や地域での生活の向上を図るために実践しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	・単元の目標を確認し、学習の見通しを持つ。 【人生のなかで高齢期をとらえる】 ・高齢者の特徴や健康、経済面など社会生活送るうえで必要なことを理解する。	○		○	【知識・技能】学習プリントへの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】活動観察、学習プリントの提出
2 (4)	【高齢社会を支える】 ・現在の高齢社会を支える社会のしくみや制度を知り、高齢者の割合の変化などに合わせて必要な支援体制を展開することの必要性を理解する。		○	○	【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートへの記述内容 【主体的に学習に取り組む態度】活動観察、学習プリントの提出
3 (2)	【充実した高齢期へ】 ・高齢者が地域で生活することの意義を知り、協働し、支え合う持続可能な地域コミュニティ作りについて理解する。	○	○		【知識・技能】学習プリントへの記述内容 【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートへの記述内容
4					
5					

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

保育基礎

1 単元名：

子どもの保育

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 ・発達過程の特徴と、段階に応じた保育の方法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。

3 単元の指導と評価の計画

(1 1) 時間扱い

○「記録に残す評価」

	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【保育の意義】 ・子どもとはどんな存在かイメージし、保育者のあるべき姿とはどのようなものか考える。 ・保育における保育者や保育者の役割を理解する。	○		○	【知識・技能】 学習プリントの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
2 (4)	【保育の環境】 ・現代の子育て環境の変化における課題を知り、子どもの健やかな発達のための適切な保育環境について考察する。 ・家庭及び幼稚園、保育所や認定こども園について、それぞれの養育・保育環境の特徴や役割を知る。		○	○	【思考・判断・表現】 スライドの内容、グループ発表 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
3 (4)	【保育の方法】 ・発達過程の特徴と、段階に応じた保育の方法について調べる。 ・保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を比較し、教育の目的や目標を理解する。	○	○		【知識・技能】 学習プリントの記述 【思考・判断・表現】 ワークシートの内容

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

保育基礎

1 単元名：

子どもの発達

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達の共通性・個別性について理解している。 ・情緒や社会性といった心の発達に関して、親や保育者との愛着形成が重要であることを理解している。 	母子健康手帳などの資料を見ながら、発達の各側面が相互に関連しあっていることを読み取り、具体的に考察することができる。	自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(1 1) 時間扱い

○「記録に残す評価」

	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【子どもの発達の特性】 <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳などの資料を見ながら、自分の成長を振り返る。 ・ライフステージにおける乳幼児期の位置づけを確認し、生涯発達のために乳幼児期が大切であることを理解する。 	○	○		【知識・技能】 学習プリントの記述 【思考・判断・表現】 ワークシートの内容
2 (4)	【乳幼児の発育と発達】 <ul style="list-style-type: none"> ・動画を視聴して乳幼児期の発育の特性や生理的特徴について考察する。 ・認知機能を理解し、子どもと大人ではもののとらえ方に違いがあることを知る。 ・愛着関係の形成過程を学び、その重要性についてグループで考察する。 	○	○		【知識・技能】 学習プリントの記述 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述
3 (4)	【子どもの発達の様子】 <ul style="list-style-type: none"> ・動画を視聴して妊娠から幼児期までの間に、子どもがどのように発達するかを理解する。 ・子どもの発達の個人差に配慮しながら、心身の発達を促すために保育者としてどのように接するとよいかをグループで話し合う。 		○	○	【思考・判断・表現】 グループ活動、発表内容、振り返り問題の記述 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動観察、学習プリントの提出

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

保育基礎

1 単元名：

子どもの生活

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な用語や生活援助のための技術を身につけている	生活習慣を題材にした絵本を選ぶ活動などを通じ、生活習慣の習得を促すための、保育者としての具体的ななかかわり方などを考察し、工夫することができる。	保育施設で行われている食育活動などに関心をもち、地域での子どもの食生活にかかわる取り組みについて主体的に情報を収集しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(18) 時間扱い

○「記録に残す評価」

	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	【子どもの健康と生活】 ・子どもの生活習慣を題材にした絵本を選び、保育者としての具体的ななかかわり方を考察する。	○	○		【知識・技能】学習プリントの記入 【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートの記入
2 (6)	【子どもの食事】 ・子どもの栄養と食生活の特徴を知り、必要なエネルギーと栄養素について理解する。 ・子どもの食生活の特徴に合った料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身につける。	○		○	【知識・技能】学習プリントの記入、調理実習 【主体的に学習に取り組む態度】行動観察、レポート提出
3 (4)	【子どもの衣服と寝具】 ・安全な衣生活について考え、適切な寝具やおむつの使い方などを理解する。		○	○	【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートの記入 【主体的に学習に取り組む態度】行動観察、学習プリントの提出
4 (4)	【子どもの健康と安全】 ・子どもの目線を体験する活動を通して安全性についての課題を見出し、子どもを危険から守るための具体的な方法を考察する。	○	○		【知識・技能】学習プリントの記入 【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートの記入

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

保育基礎

1 単元名：

子どもの福祉

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界、日本の児童観や子どもの福祉の変遷の歴史が、現代のさまざまな法律や制度に生かされていることを理解している。	児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考慮し、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。	保育施設と行政などが連携した子育て支援について関心を持ち、自分で情報を収集しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6) 時間扱い

○「記録に残す評価」

	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【保育にみる児童観】 ・日本の児童観の変遷と、社会環境や法制度のしくみについて理解する。	○		○	【知識・技能】学習プリントの記入 【主体的に学習に取り組む態度】行動観察、学習プリントの提出
2 (3)	【児童福祉の理念と法規・制度】 ・児童福祉法や子どもの福祉について課題を発見し、その解決に向けて調べ考察する。		○	○	【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートの記入 【主体的に学習に取り組む態度】行動観察、学習プリントの提出

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

保育基礎

1 単元名：

子どもの文化

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解している。	表現活動において、子どもの意欲を引き出すために保育者がどのようにかかわるとよいか、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。	自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちが楽しめるように積極的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(1 4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【子どもの文化の意義】 ・子どもの文化やそれを支える場の役割や意義を理解する。	○	○		【知識・技能】学習プリントの記入 【思考・判断・表現】ワークシートの記入
2 (8)	【子どもと遊び】 ・おもちゃづくりの活動を通して、子どもが楽しく安全に遊べるような工夫をする。		○	○	【思考・判断・表現】作品製作、レポートの記入、作品発表 【主体的に学習に取り組む態度】行動観察、レポート提出
3 (3)	【子どもの表現活動】 ・子どもの意欲を引き出し、心身を育むための保育者としての適切なかかわり方を理解する。		○	○	【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートの記入 【主体的に学習に取り組む態度】行動観察、学習プリントの提出
4					

単元の指導と評価の計画 教科名： 情報 科目名： 情報の表現と管理

1 単元名： 情報社会における情報の表現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報通信とコンピュータについて大まかに理解している。情報通信端末の種類と役割を大まかに理解している。	映像表現の発達を社会にあるものと関連付けて理解している。その他の表現技術の存在を理解している。	メディアと情報の表現の関係を理解し、適切かつ効果的に情報を表現しようと技術を活用しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (2)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・教科書やプリントを通して、情報社会における情報の表現などについてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
後日	・定期テスト	○	○		【知識・技術】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

単元の指導と評価の計画 教科名： 情報 科目名： 情報の表現と管理

1 単元名： メディアと情報の表現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
多様化する情報の表現と、それに伴うコミュニケーションの変化を理解している。	メディアの種類と特性を理解している。	メディアの特性が果たす意義や留意点に気づき、適切かつ効果的に技術を活用しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (2) 時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・教科書やプリントを通して、メディアと情報の表現についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
後日	・定期テスト	○	○		【知識・技術】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

単元の指導と評価の計画 教科名： 情報 科目名： 情報の表現と管理

1 単元名： 文字・図解による表現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わかりやすい文書の作成技法を身に付けている。 文書の基本的な構成を理解している。	図解の意義を理解している。 図解の種類と特性，活用場面を理解している。	ソフトウェアを利用して，ポスター，定型文書，報告書等をわかりやすく作成している。作品を発表し，相互に評価している。

3 単元の指導と評価の計画 (9)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・教科書やプリントを通して、文字・図解による表現についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
2 (8)	【文字と図で情報を表現する実習】 ・ビジネス文書・ポスターの企画を検討する。 ・コンピュータを利用し、企画したビジネス文書・ポスターをデジタルで作成する。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○	○	○	【知識・技術】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「ポスター課題（デジタル）」 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	○	○		【知識・技術】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

1 単元名： 情報の発信（前半）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
プレゼンテーションに用いる機器の種類と特性を理解できている。プレゼンテーションに用いるソフトウェアの役割について理解できている。	適切な題材を選択できている。プレゼンテーションのストーリーについて、聴衆を意識して組み立てることができている。	準備段階における情報収集を積極的におこなうことができた。課題の作成について、デジタルツールを積極的に使いながら、作業をすることができている。

3 単元の指導と評価の計画 (10)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・教科書やプリントを通して、情報の発信についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
2 (8)	【情報の発信に関する実習①】 ・デジタルサイネージの設計を検討する。 ・コンピュータを利用し、企画したデジタルサイネージを作成する。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○	○	○	【知識・技術】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「ポスター課題（デジタル）」 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	○	○		【知識・技術】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

単元の指導と評価の計画 教科名： 情報 科目名： 情報の表現と管理

1 単元名： 音による表現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音声および音楽データのと特性を理解できている。MIDI作成や音声編集に用いるソフトウェアやデータの役割について理解できている。	適切なデータ、ツールを選択し、目的に合わせ表現を工夫できている。	データ加工における素材集め、情報収集を積極的にこなうことができている。課題の作成について、デジタルツールを積極的に使いながら、作業をすることができている。

3 単元の指導と評価の計画 (8)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・教科書やプリントを通して、音による表現についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
2 (6)	【音の編集に関する実習】 ・MIDIで音楽を作成する。 ・コンピュータを利用し、MIDIによる音楽データを作成する。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○	○	○	【知識・技術】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「MIDI（デジタル）」 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	○	○		【知識・技術】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

単元の指導と評価の計画

教科名：

情報

科目名：

情報の表現と管理

1 単元名：

静止画による表現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
デジタル画像の基礎と特性を理解できている。 画像作成・編集に用いるソフトウェアやデータの役割について理解できている。	適切なデータ、ツールを選択し、目的に合わせ表現を工夫できている。	データ加工における素材集め、情報収集を積極的におこなうことができている。課題の作成について、デジタルツールを積極的に使いながら、作業をすることができている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・教科書やプリントを通して、静止画による表現についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
2 (6)	【静止画による表現に関する実習】 ・画像編集ソフトやプログラミング利用し、画像を作成する手順を確認する。 ・コンピュータを利用し、画像データを作成する。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○	○	○	【知識・技術】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「画像製作（デジタル）」 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	○	○		【知識・技術】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

1 単元名： データサイエンスとデータの表現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
データ分析の流れを理解できている。 画像作成・編集に用いるソフトウェアやデータの役割について理解できている。	例示データや実際のデータを収集し、データ分析の流れに沿って処理目的に合わせ表現することができている。	公的データの入手方法を知り、情報収集を積極的におこなうことができている。課題の作成について、デジタルツールを積極的に使いながら、作業をすることができている。

3 単元の指導と評価の計画 (8)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・教科書やプリントを通して、データサイエンスとデータの表現についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
2 (6)	【データの表現に関する実習】 ・プログラミング利用し、データ分析する手順を確認する。 ・プログラミングを活用し、データの収集とデータ分析をおこなう。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○	○	○	【知識・技術】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「データ分析レポート（デジタル）」 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	○	○		【知識・技術】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

1 単元名： 静止画による表現（ラスト画像）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
デジタル画像の基礎と特性を理解できている。 画像作成・編集に用いるソフトウェアやデータの役割について理解できている。	適切なデータ，ツールを選択し，目的に合わせ表現を工夫できている。	データ加工における素材集め，情報収集を積極的におこなうことができている。課題の作成について，デジタルツールを積極的に使いながら，作業をすることができている。

3 単元の指導と評価の計画 (7)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・教科書やプリントを通して，静止画による表現についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
2 (6)	【静止画による表現に関する実習】 ・画像編集ソフトやプログラミング利用し，画像を作成する手順を確認する。 ・コンピュータを利用し，画像データを作成する。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○	○	○	【知識・技術】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「画像製作（デジタル）」 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析

1 単元名： 情報の発信（プレゼンテーション）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ホワイトボード，コンピュータとプロジェクタ，ポインティングツールなどのプレゼンテーションツールの特徴を理解し，プレゼンテーションソフトでスライドを作成することができている。	プランニングシート，プログラムシートを作成し，プレゼンテーションプログラムを立案することができている。	話し方，態度，発問や応答，服装，会場確認を考え，プレゼンテーションのポイントを理解した発表をすることができている。

3 単元の指導と評価の計画 (6)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・教科書やプリントを通して，情報の発信（プレゼンテーション）についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
2 (5)	【プレゼンテーション実習】 ・聞き手調査と分析，情報収集を行い，内容の検討をおこなう。 ・プレゼンテーションソフトを活用し，発表スライドを作成する。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○	○	○	【知識・技術】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「プランニングシート」 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析

個別課題①

1. 題材名：

〔指導項目〕 (2) (3) (4)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
演奏における客観性と多様性について理解を深めている。 【知識】 理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けている。【技能】	音楽の様式を踏まえ、表現意図を明確にもったり、音楽や演奏の価値を見いだしている。	主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞している。

3. 題材の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(2)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 個別の目標を設定し、表現活動の準備を行う。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート
2(7)	個別の課題曲を練習する。	○ 技	○		【知識・技能】 活動観察 【思考・判断・表現】 振り返りシート
3(2)	練習の成果を発表し、他者と比較する。	○ 知技	○	○	【知識・技能】 発表、振り返りシート 【思考・判断・表現】 発表、振り返りシート 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート

1. 題材名：

ヴァイオリンにチャレンジ
A表現（2）器楽 B鑑賞（1）鑑賞 [共通事項]（1）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ヴァイオリンに関する知識を身に付け、文化や歴史的背景との関わりを理解している。 【知識・器楽イ（ア）】</p> <p>楽譜の読み方を理解し、ヴァイオリンの演奏に必要な運指やボウイング、奏法、楽器の構え方などの基礎的な技能を身に付け、特徴を活かして演奏している。 【技能・器楽ウ（ア）】</p>	<p>ヴァイオリンの特徴を捉えてヴァイオリンの演奏を鑑賞し、楽器や曲の特徴を生かした表現ができるよう、個人で試行錯誤したり、他者と意見を交換しながら演奏の学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>ヴァイオリンの音色や弦楽器の特徴に興味を持ち、主体的・協働的にヴァイオリンの演奏及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

（ 11 ）時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	ヴァイオリンの歴史、楽器の特徴、各部の名称を知り、ヴァイオリンの演奏を鑑賞する。		○		【思考・判断・表現】 ワークシート
2(3)	楽器の扱い方、構え方について知る。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
	弦の押さえ方や運指、ボウイングについて学習し、練習しながらヴァイオリンの奏法を身に付ける。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
3(6)	「きらきら星」の練習に取り組む。個人練習をし、ペアでアドバイスをし合う。		○		【思考・判断・表現】 活動観察
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	学習した用語、記号についての確認テストを受ける。	○ 知			【知識・技能】 確認テスト
4(1)	実技試験を受け、今まで学んだ知識や奏法などを演奏に活かすことができているか確認する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
		○ 技			【知識・技能】 実技試験

グループ課題①

1. 題材名：

〔指導項目〕 (2) (3) (4)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
演奏における客観性と多様性について理解を深めている。 【知識】 理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けながら、他者と協働して演奏している。【技能】	音楽の様式を踏まえ、表現意図を明確にもったり、音楽や演奏の価値を見いだしている。	主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞している。

3. 題材の指導と評価の計画

(10) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(2)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 グループごとの目標を設定し、表現活動の準備を行う。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート
2(7)	グループの課題曲を練習する。	○ 技	○		【知識・技能】 活動観察 【思考・判断・表現】 振り返りシート
3(2)	練習の成果を発表し、他のグループの演奏を鑑賞し、活動を振り返る。	○ 知技	○	○	【知識・技能】 発表、振り返りシート 【思考・判断・表現】 発表、振り返りシート 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート

グループ課題②

1. 題材名：

〔指導項目〕 (2) (3) (4)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
演奏における客観性と多様性について理解を深めている。 【知識】 理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けながら、他者と協働して演奏している。【技能】	音楽の様式を踏まえ、表現意図を明確にもったり、音楽や演奏の価値を見いだしている。	主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞している。

3. 題材の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(2)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 グループごとの目標を設定し、表現活動の準備を行う。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
2(10)	グループの課題曲を練習する。	○ 技	○		【知識・技能】 活動観察 【思考・判断・表現】 振り返りノート
3(2)	練習の成果を発表し、他のグループの演奏を鑑賞し、活動を振り返る。	○ 知技	○	○	【知識・技能】 発表、振り返りノート 【思考・判断・表現】 発表、振り返りノート 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート

1. 題材名：

コードネームで演奏しよう
A表現(2) 器楽

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽譜の読み方やコードネームに関する知識を身に付け、コードネームの仕組みを理解している。 【知識・器楽イ(ア)】 キーボードの演奏に必要な運指や体の姿勢などの基礎的な技能を身に付け、特徴を活かして演奏している。 【技能・器楽ウ(ア)】	キーボード演奏やコードネームに関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、課題曲を選択し、自己のイメージをもって演奏表現を創意工夫している。	キーボードの演奏やコードネームに興味を持ち、主体的・協働的にキーボードの学習活動に取り組もうとしている。

3. 題材の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	キーボードの扱い方、運指、楽譜の読み方について知る。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
2(3)	コードネームについて学習し、トライアドコードとセブンスコードの仕組みを理解する。「天体観測」「チェリー」を練習し、コードネームの演奏に慣れる。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
3(8)	課題曲を選び、練習に取り組む。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
			○		【思考・判断・表現】 ワークシート
5(1)	学習した用語、記号についての確認テストを受ける。	○ 知			【知識・技能】 確認テスト
6(1)	実技試験を受け、今まで学んだ知識や奏法などを演奏に活かすことができているか確認する。		○		【思考・判断・表現】 振り返りワークシート
		○ 技			【知識・技能】 実技試験

指導と評価の計画

教科名：

専（美術）

科目名：

美術概論

1 題材名：

モダンテクニック 歌詞の世界を表現しよう

2 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知】 モダンテクニックの様々な表現や、デッサン理論の基礎を理解している。 【技】 様々な粗材の組み合わせや形の組み合わせを試行錯誤し、個性豊かで創造的なコラージュの表現をしている。 【技】 鉛筆の濃淡を生かし、質感の表現を意識し、創造的に表現している。	【発】 歌詞のイメージから発想を膨らませて主題を生成し、素材の組み合わせによる表現の構想を練っている。 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、表現の多様性を感じ取り、よさや美しさを味わっている。	【態表】 イメージを膨らませて、いろいろな素材で表現することに興味を持ち意欲的に制作にとりくんでいる。 【態鑑】 主体的に他者の作品のよさなどを感じ取り、発想や構想の独自性を表現の工夫などについて多様な視点から考える鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

3 題材の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【導入】 ・表現技法について説明を聞き、コラージュやデッサの基礎を理解する。 ・自分の好きな曲を選び歌詞やメロディーをもとにコラージュの構想を練る。	○知	○発		【知識・技能】 ・ワークシート 【思考・判断・表現】 ・ワークシート
2 (5)	【制作①】 ・古雑誌や包装紙などを用いて組み合わせを工夫しながらコラージュで表現をする。	○技		○態表	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
3 (4)	【制作②】 ・出来上がったコラージュ作品をトレースし鉛筆デッサンをする。	○技		↓	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
3 (1)	【鑑賞】 ・出来上がった作品を相互鑑賞し、制作を振り返る。		○鑑	○態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名：

専（美術）

科目名：

美術概論

1 題材名：

抽象彫刻

2 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知】 彫造の技法や用具の正しい使い方を理解する。 【技】 完成後の形をイメージしながら、全体と部分との調和に気を配り美しい形を追求し創意工夫をして表現している。	【発】 楽しい、悲しいなどの感情から形を発想を含めて、重心やバランス、動きの感じなどを生かして存在感や美しさなどが感じられる抽象彫刻の構想を練る。 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、表現の多様性を感じ取り、よさや美しさを味わっている。	【態表】 抽象彫刻に関心を持ち、主体的に表現をしている。 【態鑑】 主体的に他者の作品のよさなどを感じ取り、発想や構想の独自性を表現の工夫などについて多様な視点から考える鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

3 題材の指導と評価の計画

(11) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【導入】 ・彫刻作品の説明を聞き、表現技法を理解して制作の見通しをもつ。 ・楽しい、悲しいなどの感情からイメージを膨らませ、抽象彫刻の構想を練る。	○知	○発		【知識・技能】 ・作品 【思考・判断・表現】 ・ワークシート
2 (3)	【制作①】 ・石粉粘土でマケットを作る。	○技		○態表	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
3 (6)	【制作②】 ・マケットをもとにスタイロフォームを成型する。 ・表面をやすりで整え、アクリル絵の具とニスで塗装する。	○技		↓	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
3 (1)	【鑑賞】 ・出来上がった作品を相互鑑賞し、制作を振り返る。		○鑑	○態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名：

(専)美術

科目名：

美術概論

1. 題材名：

ロゴマークのデザイン（ビジュアルデザイン）

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 デザインとは何か、デザインをするときに大切なことは何かを理解し、生活を豊かにするデザインを考えている。 技 アクリル絵の具や水彩色鉛筆を効果的に使い、創意工夫をして表現している。	発 社会に役立つ企業を考え、企業理念を踏まえ顧客に伝わるようなデザインを意識して主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 鑑 ロゴマークの目的や単純化した形の洗練された美しさを感じ取り、表現の意図や工夫などについて見方や感じ方を深めている。	態表 主体的にビジュアルデザイン表現の創造活動に取り組もうとしている。 態鑑 ロゴマークの洗練された美しさを感じ取り、作者のデザインの意図などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の諸活動に取り組もうとしている。

3. 題材の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【鑑賞】 ・デザインの意味や種類について学び、制作の見通しをもつ。	○知			【知識・技能】 ・ワークシート
2 (2)	【発想・構想】 ・会社の役割を学び、社会に役立つ企業を考え、ロゴマークのデザインの構想を練る。		○発		【思考・判断・表現】 ・ワークシート
3 (6)	【制作】 ・完成したアイデアをイラストボードに下描きする。 ・アクリル絵の具、水彩色鉛筆などから自分の作品にあった画材を選択し着彩する。	○技		○態表	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
4 (1)	【鑑賞】 ・完成した作品を相互鑑賞する。意見を交換しあい、感じたことや自分の考えをワークシートに記入する。		○鑑	○態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名：

(専) 美術

科目名：

美術概論

1. 題材名：

パッケージデザイン (ビジュアルデザイン)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果などを理解している。 技 材料や用具、表現方法の特性などから、意図に応じて表現方法を創意工夫して、見通しをもって創造的に表している。	発 使用するものの立場や社会のかかわりなどから主題を生成し、パッケージの機能と美しさなどとの調和を総合的に考え表現の構想を練っている。 鑑 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図について考え、見方や感じ方を深めている。	態表 主体的にビジュアルで財の表現の創造活動に取り組もうとしている。 態鑑 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の諸活動に取り組もうとしている。

3. 題材の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【鑑賞】 ・デザイナーの作ったパッケージデザインを鑑賞し、制作の見通しをもつ。	○知			【知識・技能】 ・ワークシート
2 (2)	【発想・構想】 ・自分の考えた企業の企業理念を踏まえたオリジナルの商品を考え、魅力的なパッケージデザインの構想を練る。		○発		【思考・判断・表現】 ・ワークシート
3 (4)	【制作①】 ・展開図を用いてパッケージの形や内容を考え、方眼紙で試作をする。	○技		○態表	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
4 (6)	【制作②】 ・試作をもとに方眼ケント紙にデザインをトレースする。 ・アクリル絵の具で着彩し、組み立てる。	○技		○態表	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
4 (1)	【鑑賞】 ・完成した作品を相互鑑賞する。意見を交換しあい、感じたことや自分の考えをワークシートに記入する。		○鑑	○態鑑	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名：

(専)美術

科目名：

美術概論

1. 題材名：

テーマ制作 (絵巻)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 絵巻についての基本的な知識やアニメーションとしての効果を理解している。 技 墨汁や色鉛筆など描画材料の特性を生かし、創造的に表現している。	発 日本の伝統的なアニメーションの技法を踏まえ、与えられたテーマに沿ってストーリーや場面の分割を考え、創造的な作品の構想を練っている。	態表 絵巻の表現に関心を持ち積極的に制作にとりくんでいる。

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

kihon	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【導入】 ・絵巻の基礎や歴史を理解する。 ・作品のテーマと説明を聞き、制作の見通しをもつ。	○知			【知識・技能】 ・ワークシート
2 (2)	【発想・構想】 ・与えられたテーマをもとに自分なりのストーリーを考え、絵巻のアイデアスケッチをする。		○発	○態表	【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子
3 (11)	【制作】 ・自分の考えたアイデアをもとに、描画材料を選択し、絵巻を制作する。	○技		○態表	【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅲ

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な行政や金銭についての知識を深めている。	進路実現に向けて自らの意思や行動を見つめなおし、改善できている。	①授業に積極的に関わり、様々なことに興味をもつ。 ②働くことへの興味を広げ、卒業後の自分を意識できている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	○進路に向けての意識 ・自己分析をする。 ・高校卒業後の進路について確認する。 ・福祉サービスの利用の流れについて理解する。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○	○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発言 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発表等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容 ・定期試験
2 (5)	○お金の管理 ・収入の種類を理解する。 ・給料明細の内容を理解し、読み取る。 ・求人票について知り、必要な情報を読み取る。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発言 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発表等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容 ・定期試験

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅲ

1 単元名：

PC実技

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
スプレッドシートの機能を理解し、正しく利用している。	指定された方法で、的確に計算式の作成や表の作成等ができる。	様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○グラフと統計 ・動画を見て、統計について理解する。 ・感じたこと、考えたことを文章にする。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○		○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・成果物等 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容
2 (7)	○実技演習 ・実技課題に取り組む。 ・必要に応じて、セルを結合したり、高さや幅、セル内の文字のフォントやサイズなどを調整する。 ・スプレッドシート上で四則演算や表、グラフの作成などを行う。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・実技課題等 【思考・判断・表現】 ・実技課題等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅲ

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食と自身の健康などへの興味を広げると共に、ストレス解消方法や病院への行き方など卒業後の自立に向けてのイメージが意識できている。	卒業後の自立した生活面について、健康面から自分の課題を考え、改善する方法についても考えることができる。	①授業に積極的に関わり、様々なことに興味をもつ。 ②社会生活に必要な、衣食住についての知識を深めることができる。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	○食事 ・健康につながる食事、3色の栄養素について知る。 ・外食の仕方について考える。 ・理想の1日の食事について考える。 ・テキストの事例を読んで、自分に置き換えて、対策を考える。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発言 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発表等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容 ・定期試験
2 (6)	○健康と生活 ・家に備える救急用品について知る。 ・病院へ行くときの持ち物や注意点を知る。 ・自分のストレス解消法について考える。 ・テキストの事例を読んで、自分に置き換えて、対策を考える。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発言 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発表等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容 ・定期試験

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅲ

1 単元名：

PC実技

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
googleスライドの機能を理解し、正しく利用している。	レイアウトなどを工夫して、感じたことや考えたことをスライドにできる。	様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○文字と写真のレイアウト ・動画を見て、レイアウトについて理解する。 ・感じたこと、考えたことを文章にする。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○		○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・成果物等 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容
2 (8)	○実技演習 ・googleスライド上で文字や図表、アニメーションなどの編集を行う。 ・実技課題に取り組む。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○	○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・実技課題等 【思考・判断・表現】 ・実技課題等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅲ

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
職業準備性のピラミッドについて理解し、自分の現状を確認することができる。	①卒業後の自立した生活面について、自分の課題を考え、改善する方法についても考えることができる。 ②高校3年間の生活を振り返り、卒業後について見通しを持つことができる。	①授業に積極的に関わり、様々なことに興味をもつ。 ②社会生活に必要な力についての理解を深めることができる。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (7)	○卒業後に向けて ・職業準備性のピラミッドについて理解し、自分の現状を確認する。 ・高校3年間の生活を振り返り、作文を書く。 ・卒業後の生活について考え、作文を書く。 ・テキストの事例を読んで、自分に置き換えて、対策を考える。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発言 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発表等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容 ・定期試験

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅲ

1 単元名：

PC実技

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
googleスライドの機能を理解し、正しく利用している。	作成したスライドを用いて、自身のプレゼンテーションに活かすことができる。	様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (7)	○実技演習 ・実技課題に取り組む。 ・ノート機能などを活用しながら、プレゼンテーションを行う。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○	○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・実技課題等 【思考・判断・表現】 ・実技課題等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容

令和7年度 上鶴間高等学校 年間指導計画 [第3学年 総合的な探究の時間]

第3学年（年次）の探究課題		個別の学校、企業等を調査し自分自身の進路を決定する			
履修単位数（時間数）		1 単位（30 時間）			
教育課程実施に係る位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 時間割に位置付けて実施 <input type="checkbox"/> 時間割に位置付けるとともにある期間に集中して実施 （集中して実施する期間： ）			
評価の観点の趣旨		評価の観点		評価の観点の趣旨	
		a	知識・技能	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	
		b	思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	
学期	時間数	指導事項 （探究の学習過程）	主な学習活動	評価規準	単元
1 学期	3	① 課題の設定	○ガイダンス ○進路希望調査 ○探究課題の設定	a 課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、探究の意義を理解している。 b 自分自身の適性や能力を知るために、自ら課題を立て、計画することができる。 c 課題の設定、計画の立案に主体的に取り組んでいる。	課題の設定と計画の立案
	8	② 情報の収集	○自分の適性・能力・関心をもとに具体的な進路について考える ・オープンキャンパス ・体験授業 ○課題に対する情報の収集	a 情報を収集するために必要な知識・技能を身に付けている。 b 自分自身の適性や能力を生かすデータとして妥当なものであるか判断することができる。 c 情報の収集に主体的に取り組んでいる。	データの収集
2 学期	8	② 情報の収集	○自分が受験する学校・企業について知る ○課題に対する情報の収集	a 情報を収集するために必要な知識・技能を身に付けている。 b 自分自身の適性や能力を生かすデータとして妥当なものであるか判断することができる。 c 情報の収集に主体的に取り組んでいる。	データの収集
	8	③ 整理・分析	○現代の社会を知る ・消費者教育 ・社労士講話 ○課題に対して収集した情報の整理・分析	a 情報を整理、分析するための知識・技能を身に付けている。 b 情報の整理、分析をとおして、自分の適性や能力を生かすための進路を考察することができる。 c 情報の整理、分析、考察に主体的に取り組んでいる。	整理・分析・考察
3 学期	3	④ まとめ・表現	○まとめ・発表 ・発表スライドの作成	a 研究のまとめ・表現をとおして、探究に必要な知識・技能を認識するとともに、社会参画する力を身に付けている。 b 進路実現に向けた方策を考察することができる。 c 研究のまとめ・表現、他者との意見交換に主体的・協働的に取り組み、学習の振り返りを行っている。	振り返りと発表

※ 探究の学習の過程（①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現）

【単元計画】（単元ごとに記入） ※可能な範囲で記入してください。

単元名	広く職業について学ぶ		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識を身に付け自分自身のキャリア意識を形成する。 ・生徒が進路選択に向けて職業や学問について探究し、各自の適性、能力、関心に合った進路実現に向けて、主体的に判断する能力を育成する。 		
単元の評価規準	評価の観点		単元の評価規準
	a	知識・技能	他者や社会との関わりについて学び、積極的に社会参画する力を身に付けている。
	b	思考・判断 表現	自分自身の適性や能力を客観的に評価し、進路実現をするための方策について考える。
	c	主体的に学習に 取り組む態度	自分自身のキャリア形成に向けた学習活動に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
小単元名 (時間数)	学習活動		評価規準及び評価方法
課題の設定 (3時間)	○ガイダンス ○進路希望調査 ○探究課題設定		a ○振り返りシート b ○ポートフォリオ c
情報の収集 (16時間)	○将来の自分をイメージして進路について考える <ul style="list-style-type: none"> ・上級学校の学部、学科について ・模擬授業 ○世の中を知る <ul style="list-style-type: none"> ・シチズンシップ、消費者教育 ○課題に対する情報収集		a ○ポートフォリオ b ○振り返りシート c
整理・分析 (8時間)	○将来の自分を見据えた進路について整理・分析する ○収集した情報についての整理・分析		a ○ポートフォリオ b ○振り返りシート c ○感想文
まとめ・表現 (3時間)	○まとめ ○発表 <ul style="list-style-type: none"> ・研究協議 		a ○ポートフォリオ b ○発表 c ○研究協議